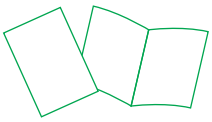
abee®
Designed and Created in Tokyo.

AFFINITY™

AFFINITYユーザーズマニュアル 2

AFFINITY E101

付属の各マニュアルに必ず目を通してください。



本マニュアルでは、音楽の再生方法や困ったときの対処方法などを説明しています。
その他、設置の手順やWindowsセットアップ方法などは、付属の紙マニュアルをご覧ください。

⚠ 警告　電気製品は安全上のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

(C)2015 Abee Corporation. All rights reserved.

DATA-0004 REV.1.0

目次 1

Chapter A ESET Smart Security(30日評価版)

アクティベーションする A-1

Chapter B foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)

foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)について B-1
再生できる拡張子 B-1
起動方法 B-2
スタート画面 B-4
画面構成 B-5
楽曲を再生する B-7
リピート機能とシャッフル機能 B-9
プレイリストを作成する B-10
プレイリストへ楽曲を取り込む B-11
音楽ファイル形式の変換 B-13
DiMO B-15
メディアサーバーとして利用する B-18
接続する機器に合わせて設定を変更する B-24

Chapter C aLink

aLinkについて C-1
ホーム画面 C-1
プレイリスト画面 C-2
楽曲表示画面 C-3
プレイバックオーダーの種類 C-4
設定方法 C-5

目次 2

Chapter D 困ったときは

トラブルシューティング D-1

Chapter E システムの復元とリカバリー

システムの復元 E-1
回復ドライブの作成 E-7
回復ドライブからリカバリーする E-11

Chapter F アフターサポート

保証規定 F-1
アフターサービスのご案内 F-3

Chapter A

ESET Smart Security（30日評価版）

アクティベーションする　A-1

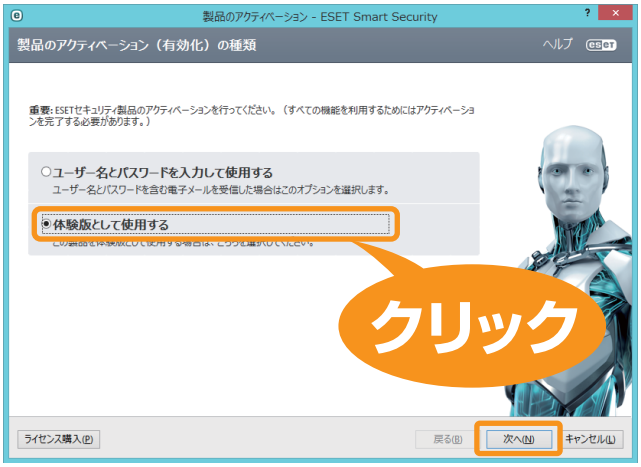
アクティベーションする

ESET(イーセット)Smart Securityは、高いウイルス検出率と軽快な動作を両立し、高度化･悪質化するマルウェアの脅威からインターネット生活を守るウイルスセキュリティソフトウェアです。
本製品は、あらかじめウイルスセキュリティソフトがインストールされていますが、定期的に更新を行わないと最新の状態でご使用いただくことができません。ここでは、セキュリティソフトのアクティベーション手順について説明します。

1. タスクバーの△をクリックし、隠れているアイコンを表示します。ESET Smart Securityの『⚠』アイコンをクリックします。

2. 「アクティベーション」をクリックします。

3. 「体験版として使用する」にチェックし「次へ」をクリックします。



4. 電子メールアドレス欄と確認用電子メールアドレス欄にアクティベーションに使用するメールアドレスを入力し、「アクティベーション」をクリックします。

5. アクティベーションが完了したら「完了」をクリックします。

6. アンチセフト機能の「有効」または「スキップ」を任意で選択します。

メモ

アンチセフトを有効にすると、紛失または盗難にあったコンピューターの「監視」や、「位置の特定」などを行うことができ、該当のコンピューターの捜索にご利用いただけます。ESETアンチセフトは、セットアップ後でも有効・無効の切り替えが行えます。

7. ウイルス定義データベースのアップロードが自動で開始され、アップロードが完了すると体験版の使用期限が表示されます。

メモ

アンインストールする場合はコントロールパネルを開き、プログラムのアンインストールから「ESET Smart Security」を選択してください。

Chapter B

foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)

foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)について	B-1
再生できる拡張子	B-1
起動方法	B-2
スタート画面	B-4
画面構成	B-5
楽曲を再生する	B-7
リピート機能とシャッフル機能	B-9
プレイリストを作成する	B-10
プレイリストへ楽曲を取り込む	B-11
音楽ファイル形式の変換	B-13
DiMO	B-15
メディアサーバーとして利用する	B-18
接続する機器に合わせて設定を変更する	B-24

foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)について

本機は、優れた原音再生能力と高い機能性を両立する「foobar2000」を採用し、独自のチューニングとカスタマイズによって、さらに高い音質と操作性を実現しています。foobar2000は、楽曲再生のほか、ライブラリ管理、プレイリストの作成などさまざまな機能を備えています。

foobar2000は、一定のスキルによりさまざまなカスタマイズが可能です。ユーザーのスキルレベルに応じたカスタマイズが可能なこともfoobar2000の特長です。

ここでは、foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)について説明します。

再生できる拡張子

AC3　AIFF　ALAC　AU　FLAC　M4A　MP3　MPC　OGG　OPUS　SND　W64　WAV　WV

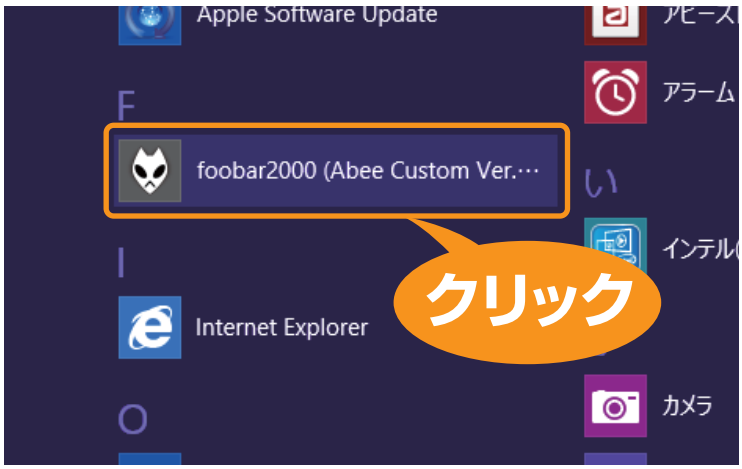
メモ　拡張子によってはサンプリング周波数とビット数を変更しないと再生できないものがあります。

起動方法

1. 画面左下のWindowsロゴをクリックします。

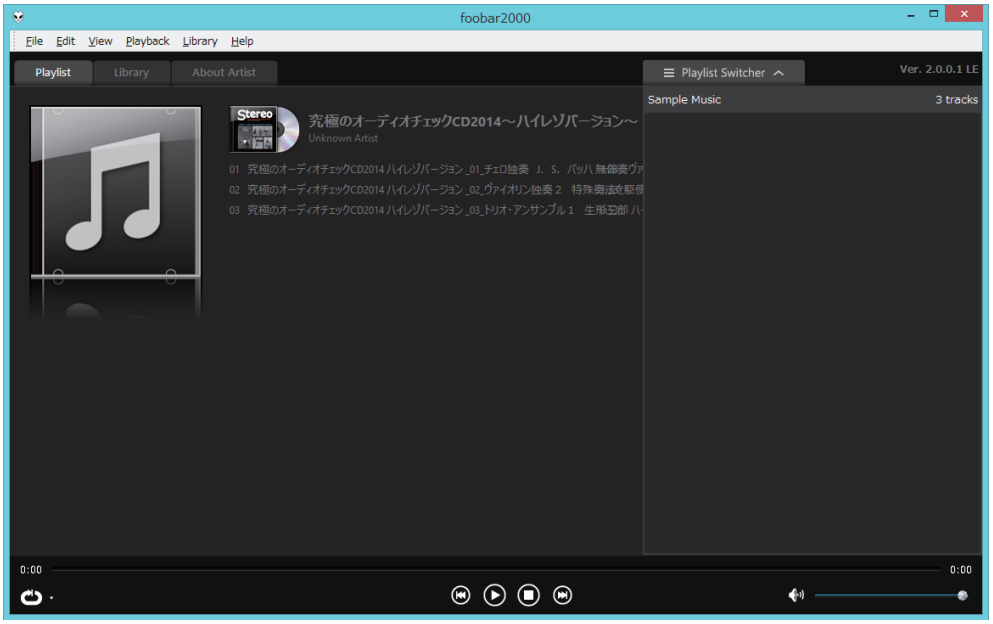
2. 画面左下の ⓘ をクリックします。

3. Windowsアプリ一覧から「foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)」をクリックします。

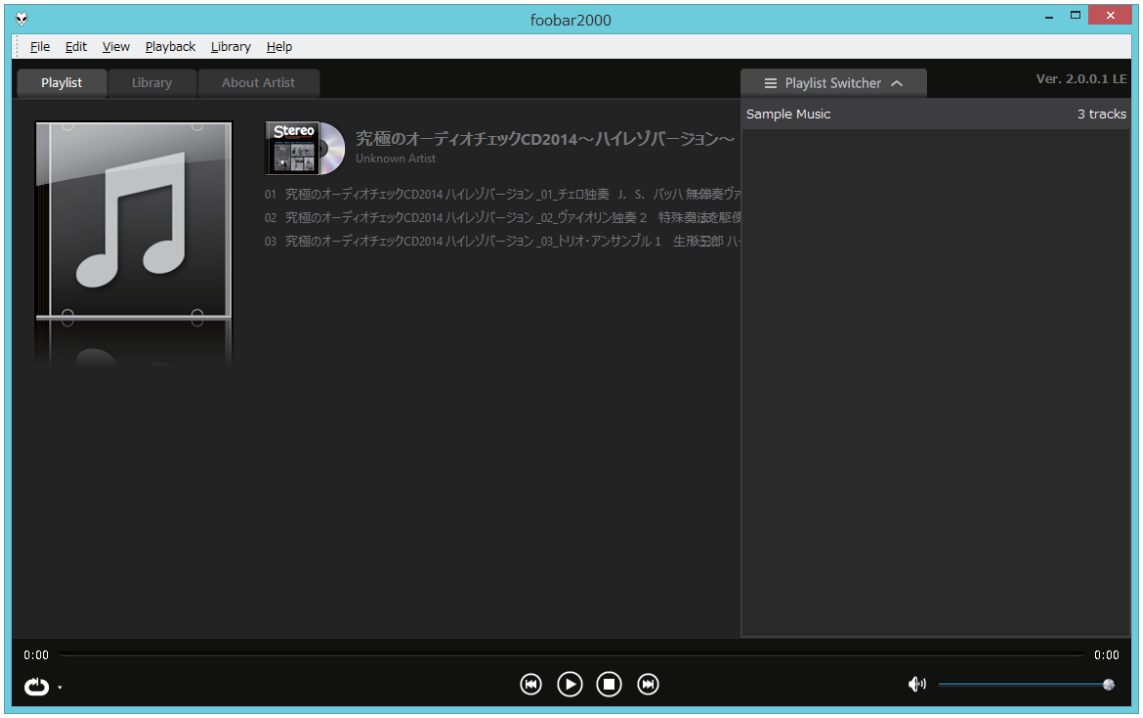


4. foobar2000が起動します。

<スタート画面>

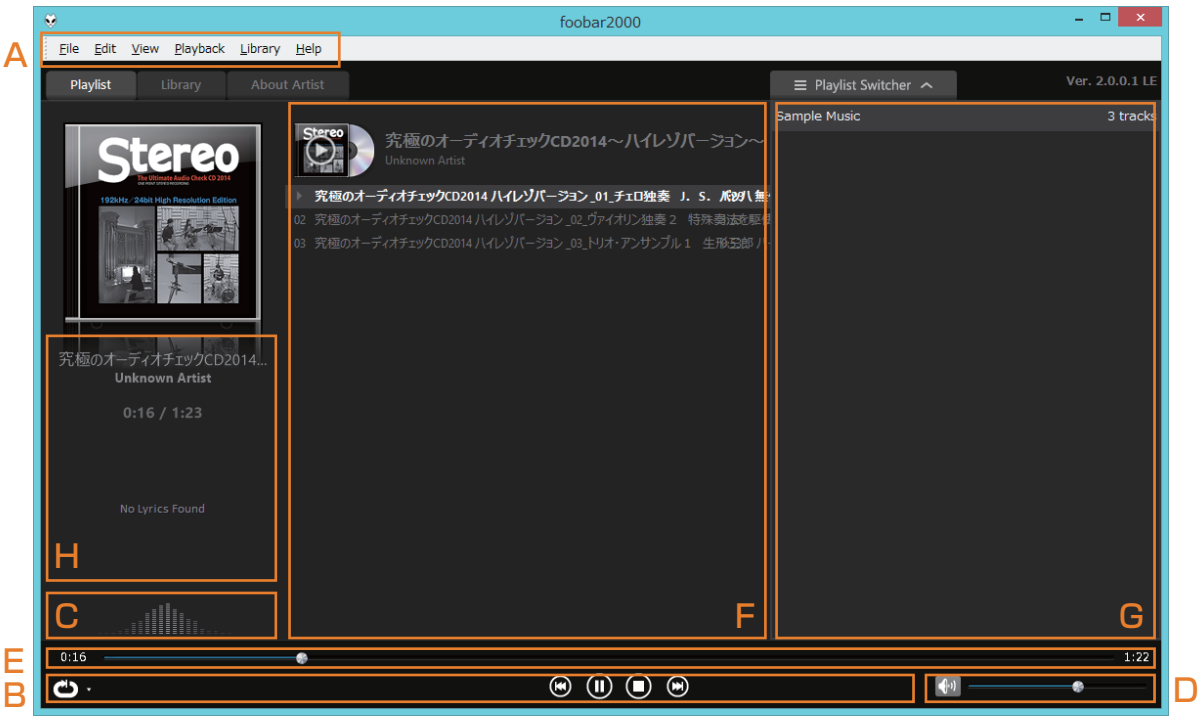


スタート画面


foobar2000
File Edit View Playback Library Help
Playlist
Library
About Artist
Playlist Switcher
Ver. 2.0.0.1 LE
Sample Music
3 tracks
Stereo
究極のオーディオチェックCD2014～ハイレゾバージョン～
Unknown Artist
01 究極のオーディオチェックCD2014 ハイレゾバージョン _01_チェロ独奏 J. S. バッハ 無伴奏ヴァ
02 究極のオーディオチェックCD2014 ハイレゾバージョン _02_ヴァイオリン独奏 2 特殊奏法を駆使
03 究極のオーディオチェックCD2014 ハイレゾバージョン _03_トリオ・アンサンブル 1 生形玲郎 ハ
0:00
0:00

画面構成

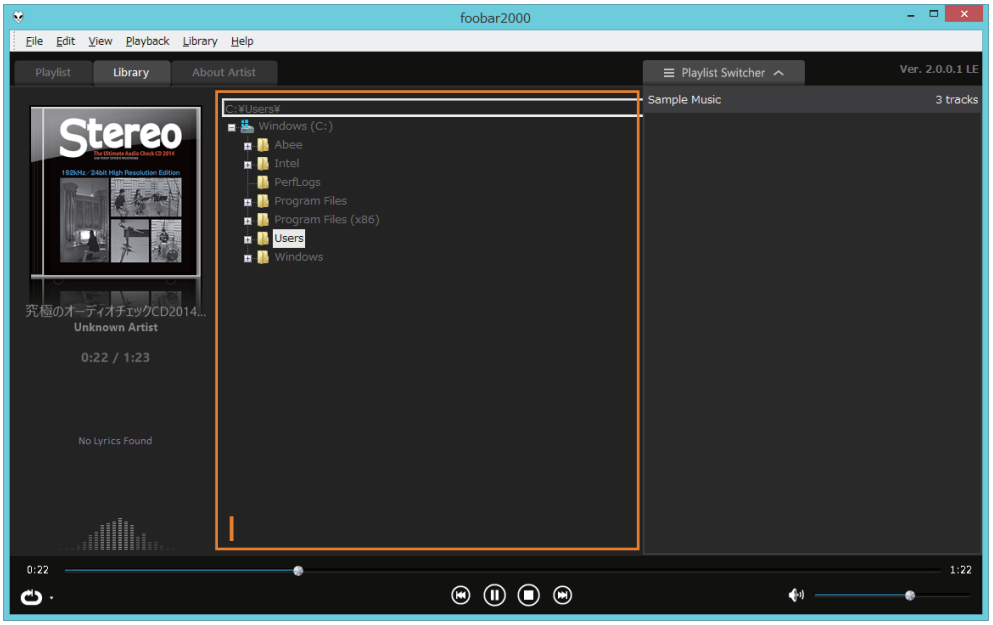
<Playlist画面>



A	メインメニュー	各種設定などを行うためのメニュー
B	操作アイコン	再生、停止、曲送りなどの操作アイコン
C	スペクトラムバー	周波数ごとの音量をリアルタイムで表示
D	音量	音量の調整、右へ移動するほど大きくなる
E	シークバー	再生中の楽曲の再生位置を表示
F	アルバムリスト	アルバム楽曲一覧
G	プレイリスト	プレイリスト一覧
H	リリックス	歌詞を表示

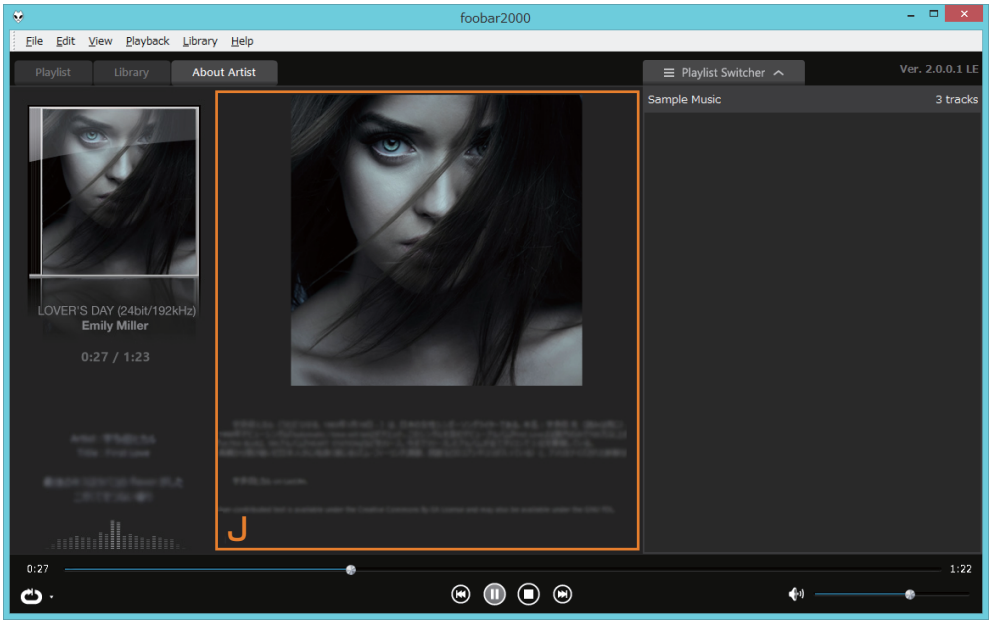
※歌詞情報が取得できない場合は「No Lyrics Found」と表示されます。

<Library画面>



I　ライブラリ　　エクスプローラーを表示

<About Artist画面>



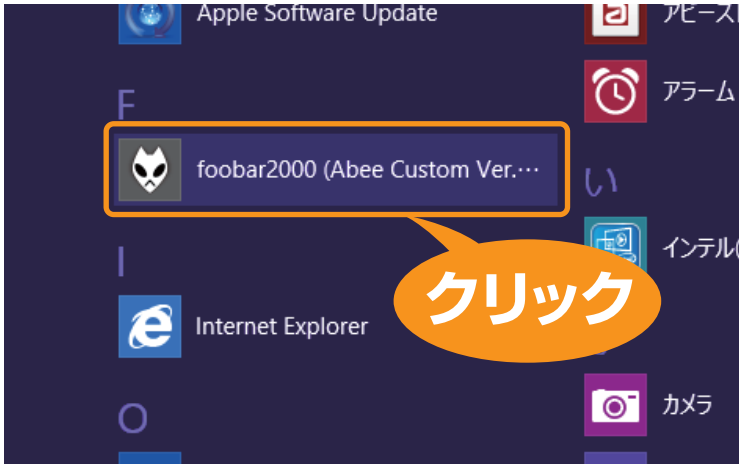
J　アーティスト情報表示　　再生中のアーティスト情報を表示

> **メモ**　再生中のファイルにアーティスト情報がない場合は表示されません。

楽曲を再生する

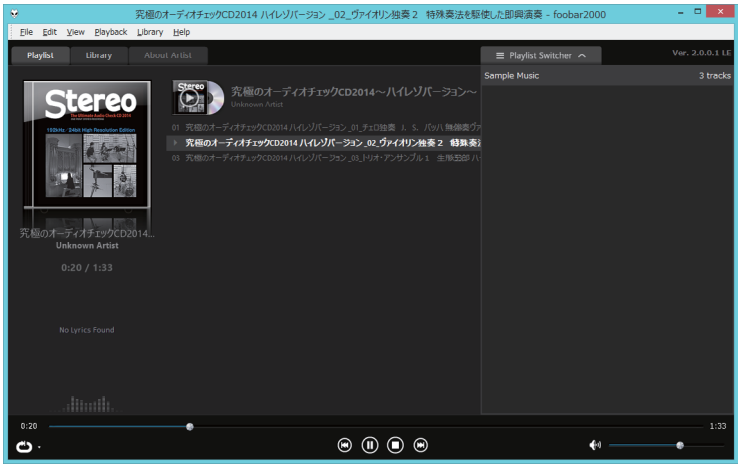
サンプルミュージックを再生する

1. Windowsアプリー覧から「foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)」をクリックします。

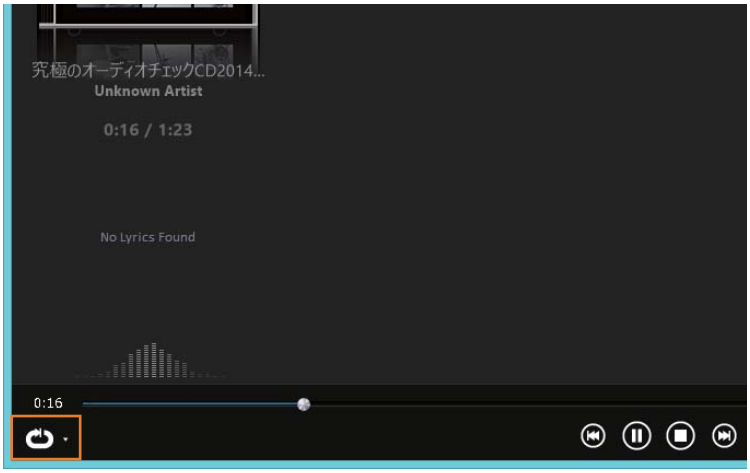


2. 再生する楽曲を選択し「再生」ボタンをクリックします。

3. サンプルミュージックが再生されます。



リピート機能とシャッフル機能



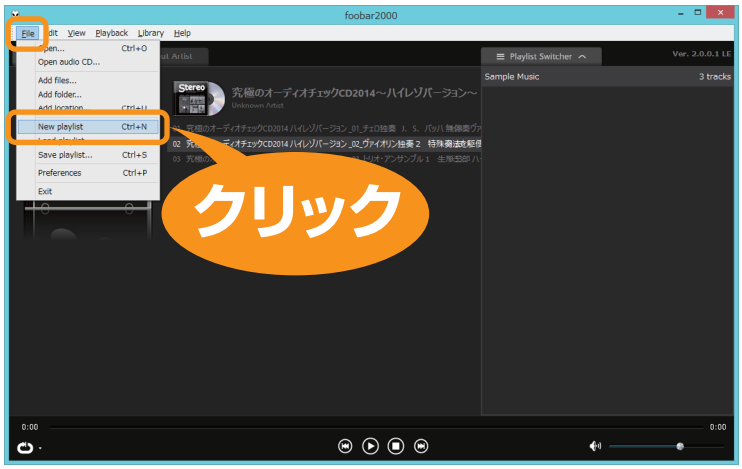
リピート機能とシャッフル機能の種類

	Default	プレイリストの曲を全て再生したら停止
	Repeat(playlist)	プレイリストの曲を全て再生したら先頭に戻って繰り返す （プレイリストのリピート）
	Repeat(track)	現在のトラックをリピート再生
	Random	プレイリストの曲をランダム再生し続ける
	Sfuffle(tracks)	プレイリストの曲をシャッフル再生し続ける。 （トラック単位）
	Sfuffle(albums)	プレイリストの曲をシャッフル再生し続ける （アルバム単位＝アルバムの曲を先頭から順番に連続再生）
	Sfuffle(folders)	プレイリストの曲をシャッフル再生し続ける。 （フォルダ単位＝フォルダの曲を先頭から順番に連続再生）

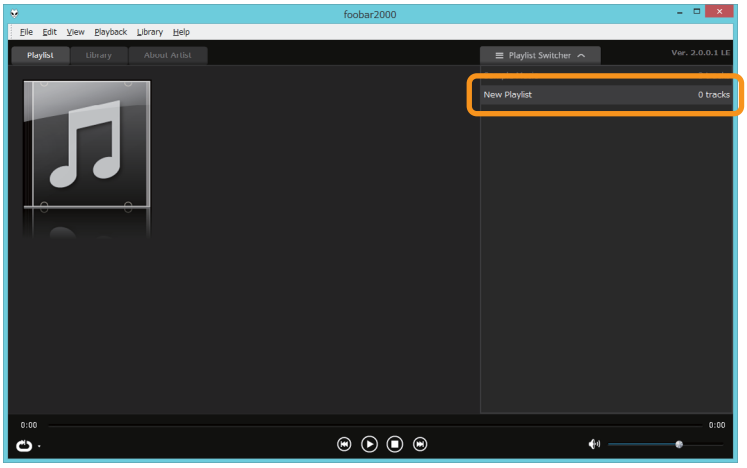
プレイリストを作成する

プレイリストとは、音源を集めた再生リストのことです。プレイリストを作成すると、お気に入りのアルバムや楽曲だけを再生したり、好きな曲順で楽曲を再生することができます。

1. 「File」メニューを選択し、「New Playlist」をクリックします。



2. プレイリストに「New Playlist」が作成されます。

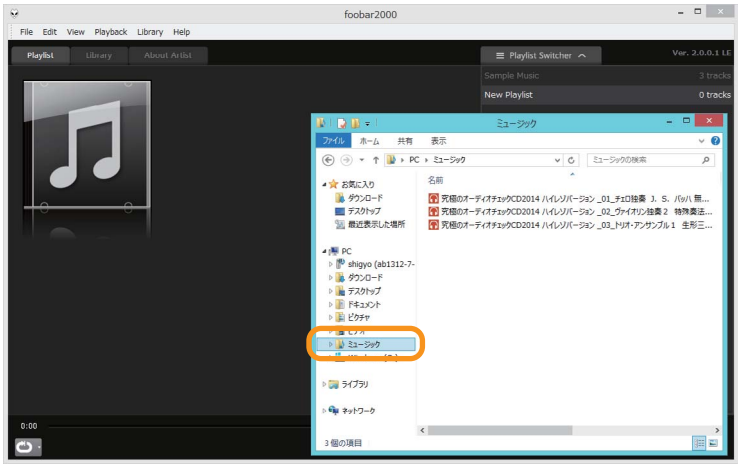


メモ プレイリスト一覧画面で右クリックし、「NEW」を選択してもプレイリストを新規作成することができます。

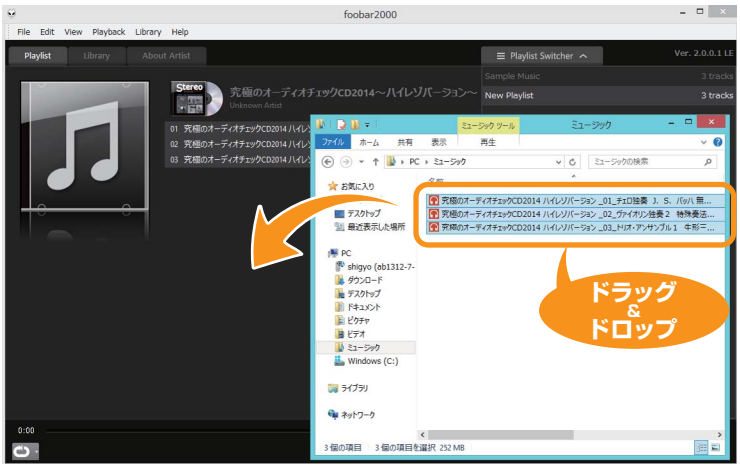
プレイリストへ楽曲を取り込む

1. 画面左下の「エクスプローラー」をクリックします。

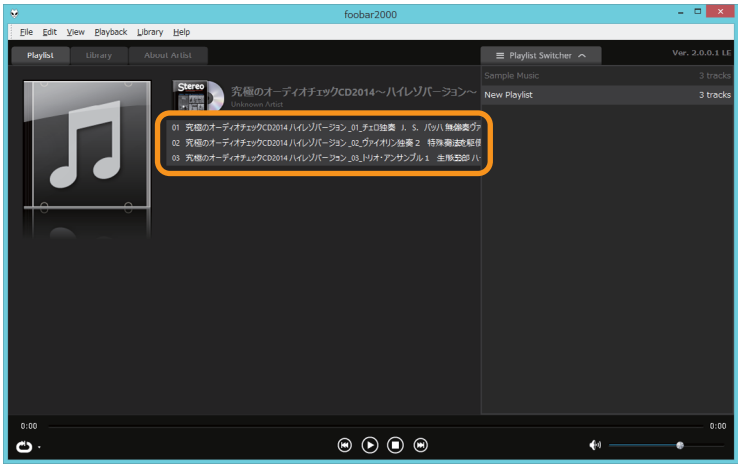
2. 楽曲が保存されているフォルダーを開きます。



3. プレイリストへ追加したいアルバムもしくは楽曲をドラッグ&ドロップします。



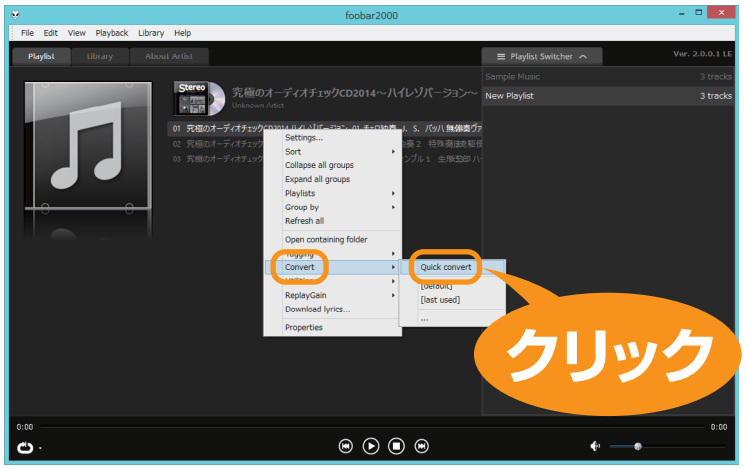
4. 楽曲がプレイリストへ追加されます。



音楽ファイル形式の変換

ここでは、WAV形式からMP3形式へ変換する方法を例にして説明します。

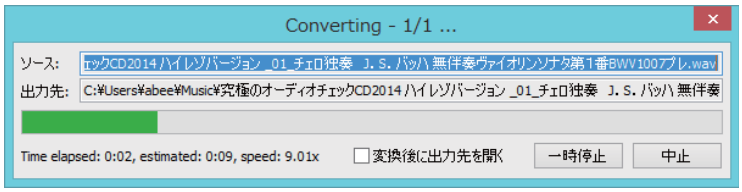
1. 変換したい楽曲の上で右クリックし、「Convert」→「Quick convert」の順にクリックします。



2. 変換したいファイル形式を選択し、「変換」をクリックします。

3. 保存するフォルダーを選択し、「保存」をクリックします。

4. Converting画面が表示され、リッピングが開始されます。



5. Converting画面が消えたら、ファイル形式の変換は完了です。

DiMO

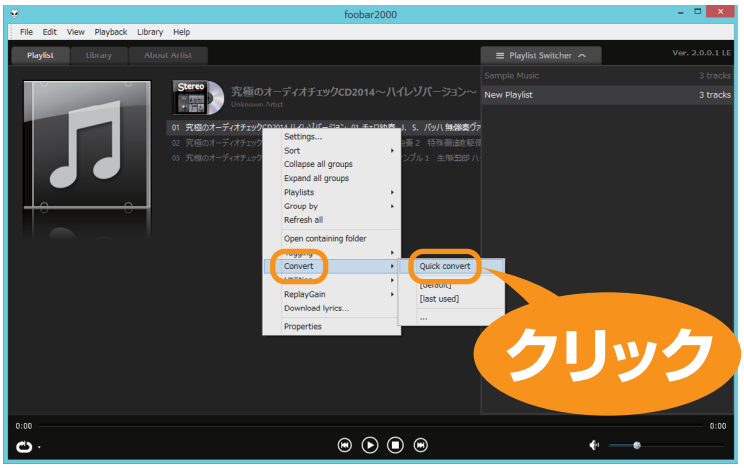
DiMOとは、非可逆圧縮音源を高解像度音源(ハイレゾ音源)へアップサンプリングするアビー独自のコンバーターです。オーディオCDなどからリッピングした楽曲をアップサンプリングし、音質を高めた楽曲として改めてデータ保存することが可能です。ポータブルプレーヤー等へコピーし、外出先でハイレゾ音源を楽しむこともできます。

アップサンプリングする

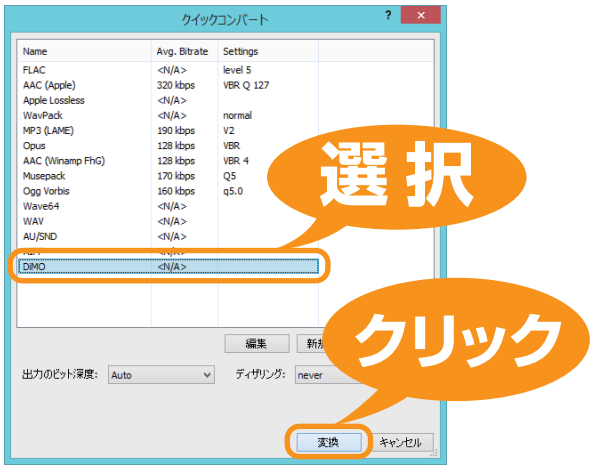
重要

- 高解像度音源にアップサンプリングする際は、ファイル形式をWAVに変換する必要があります。音楽ファイル形式の変換方法は、B-13ページをご確認ください。
- アルバム内の全曲やプレイリストへ登録された楽曲すべてを同時にアップサンプリングすることはできません。1曲ずつ、アップサンプリングを行ってください。
- 「Track Title」にスペースが入っているとDiMOは正常動作いたしません。

1. アップサンプリングしたいWAVファイルを右クリックし、「Convert」→「Quick convert」の順にクリックします。

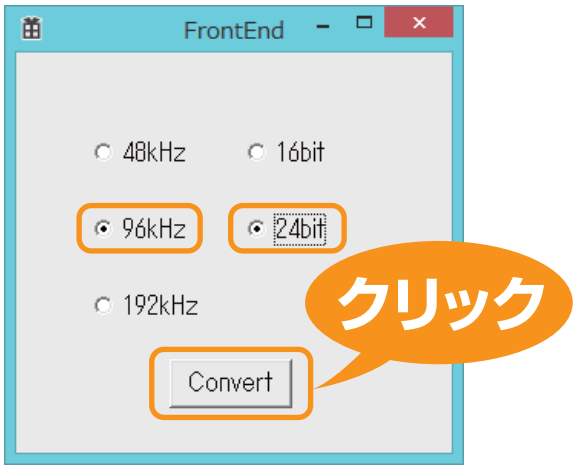


2. 「DiMO」を選択し、「変換」をクリックします。

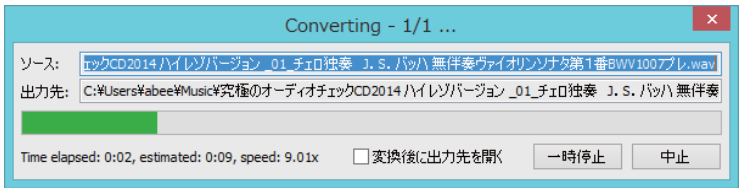


3. 保存するフォルダーを選択し、「保存」ボタンをクリックします。

4. FrontEnd画面が表示されたら任意の周波数とビット数を選択し、「Convert」をクリックします。



5. Converting画面が表示され、アップサンプリングが開始されます。

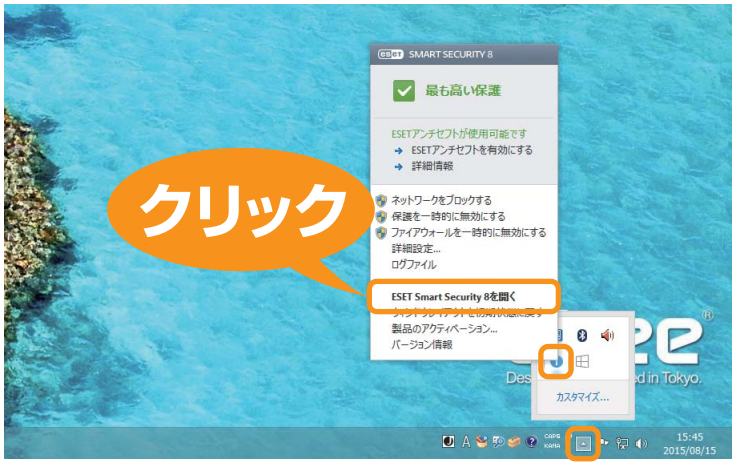


6. Converting画面が消えたら、アップサンプリングは完了です。

メディアサーバーとして利用する

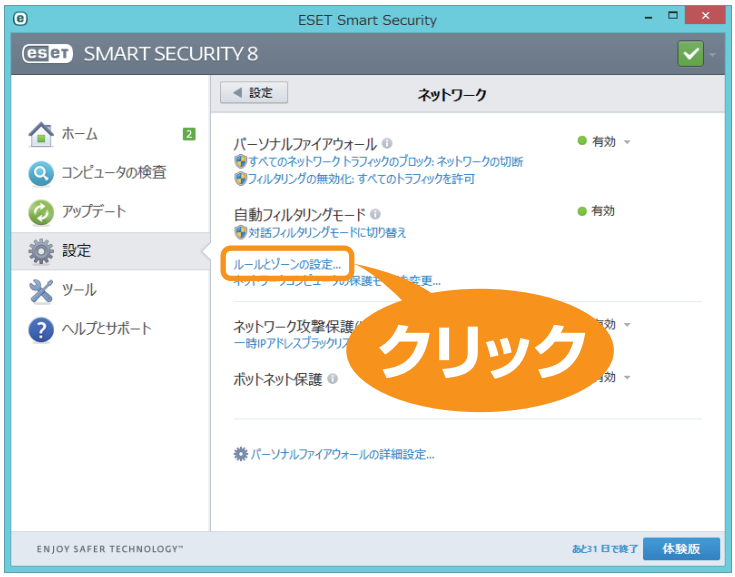
foobar2000のDLNAサーバー機能は、出荷時は停止しております。開始するにはセキュリティソフトの設定とfoobar2000の設定が必要となります。
ここでは、セキュリティソフト「ESET smart Security」を例にして説明します。

1. タスクバーの△をクリックし、隠れているアイコンを表示します。ESET Smart Security の『ⓘ』アイコンを右クリックして「ESET Smart Security を開く」をクリックします。

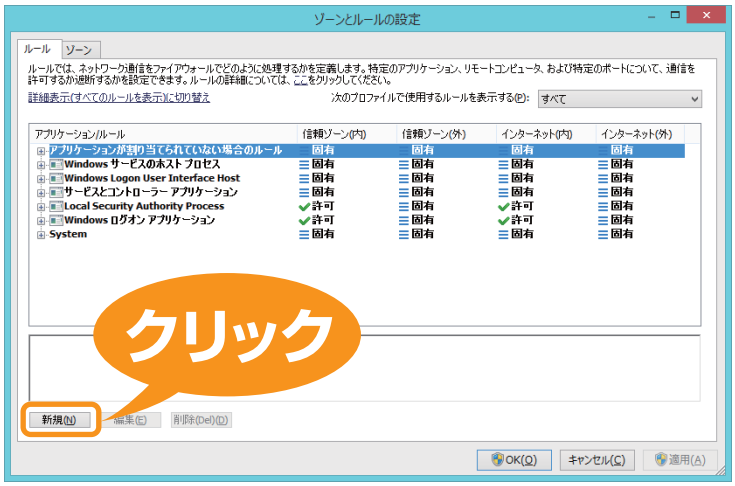


2. 「設定」を選択し、「ネットワーク」をクリックします。

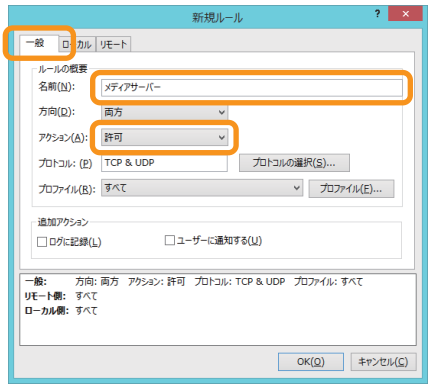
3. 「ルールとゾーンの設定」をクリックします。



4. 「新規」をクリックします。

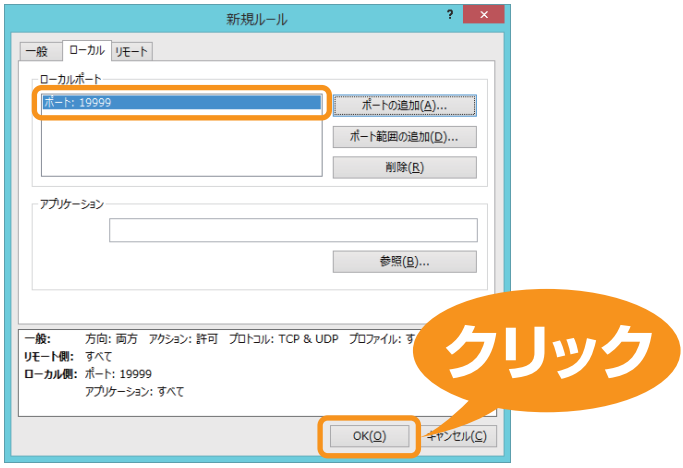


5. 一般タブの項目を下図のように設定します。



6. ローカルタブの「ポートの追加」を選択し、下図のように設定し「OK」をクリックします。

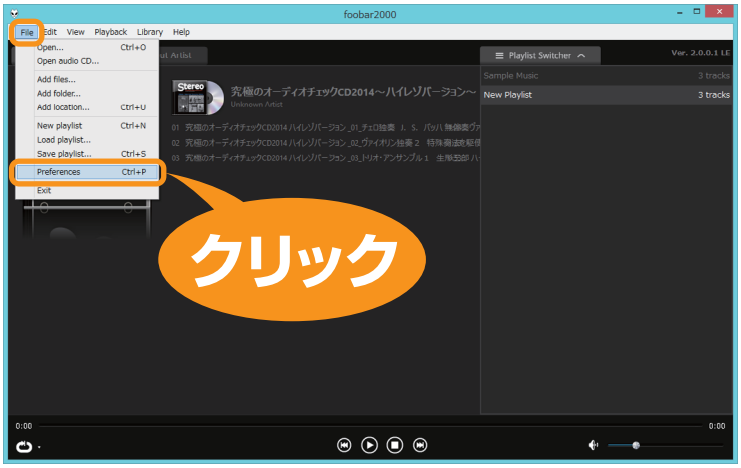
7. ポート:19999が追加されたのを確認し、「OK」をクリックします。



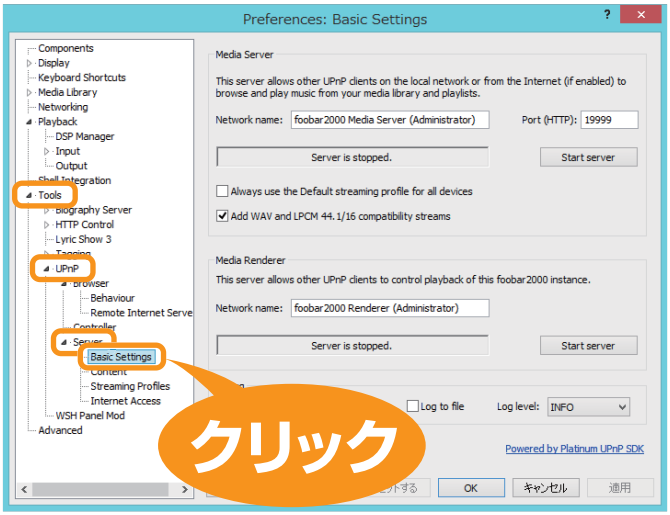
8. メディアサーバーが追加されたのを確認し、「OK」をクリックします。

9. Windowsアプリ一覧から「foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)」をクリックします。

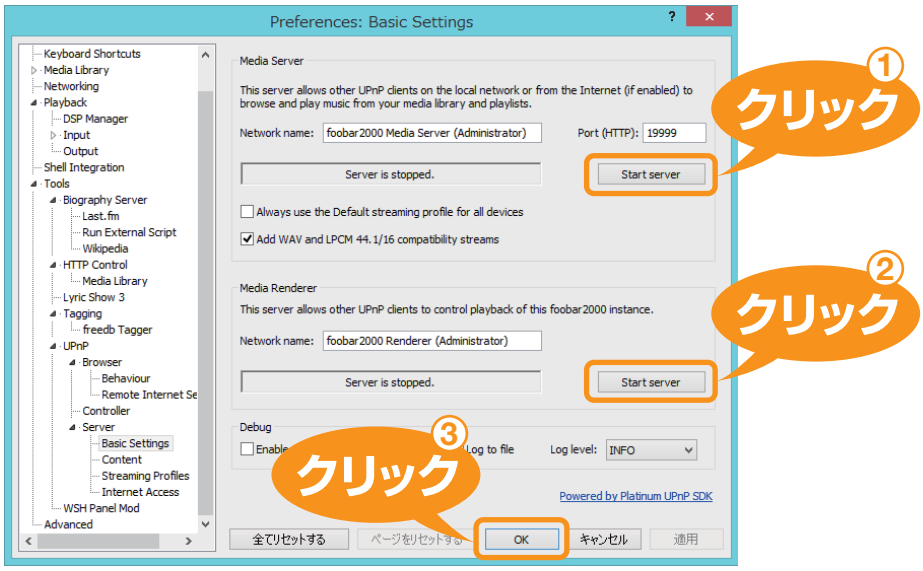
10. 「File」メニューを選択し、「Preferences」をクリックします。



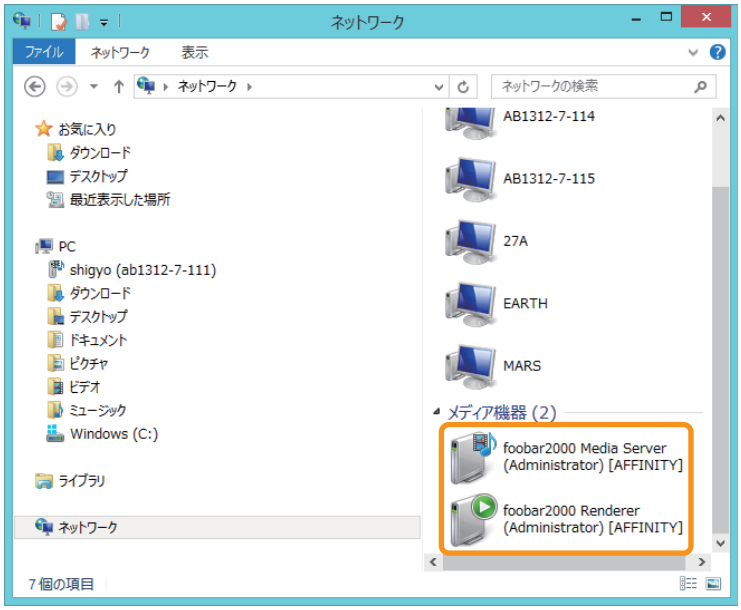
11. 「Toos」-「UPnP」-「Server」-「Basic Settings」をクリックします。



12. 2ヵ所の「Start server」をクリックし、「OK」をクリックします。

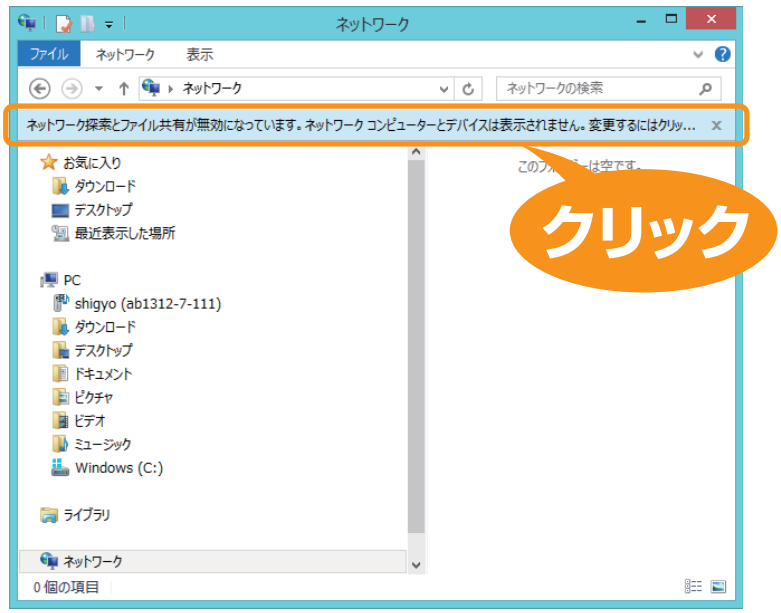


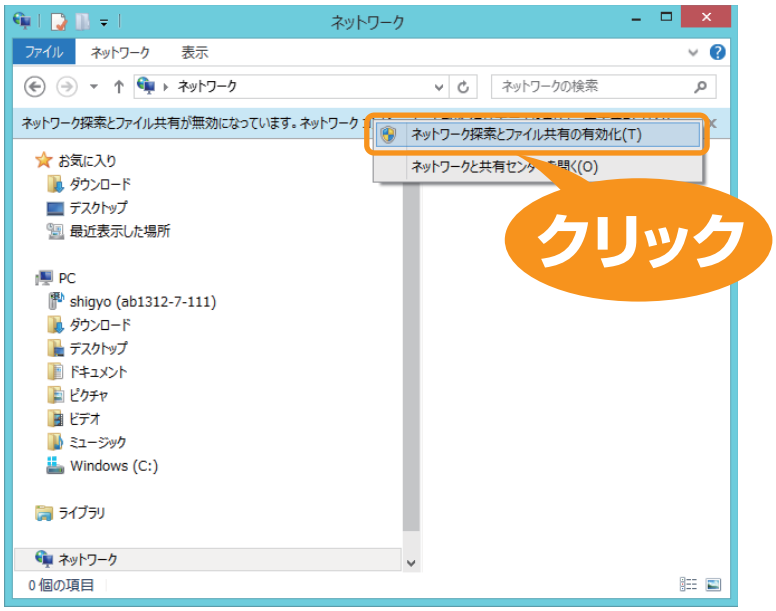
13. ネットワークを開き、「foobar2000 Media Server」と「foobar2000 Renderer」が確認できたら、メディアサーバーの設定は完了です。



メモ

「ネットワーク検索とファイル共有が無効になって…」といったメッセージが出てきたら、メッセージをクリックし、ネットワーク検索とファイル共有の有効化を行ってください。



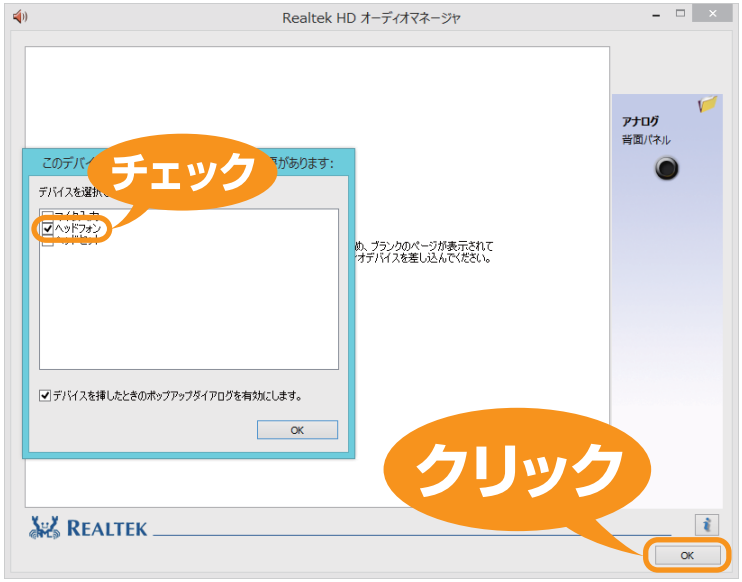


接続する機器に合わせて設定を変更する

ライン出力を利用して外部機器(スピーカーなど)を接続する場合

1. 3.5mmステレオミニプラグを挿し込み、本機と外部スピーカーを接続します。

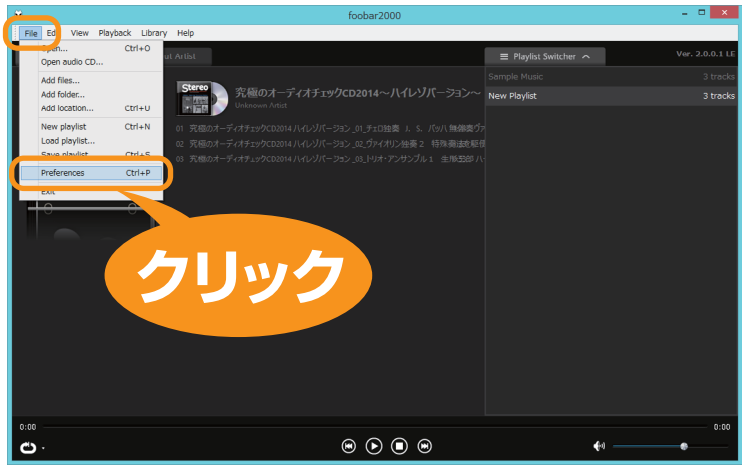
2. 「ヘッドフォン」へチェックを入れ、「OK」をクリックします。



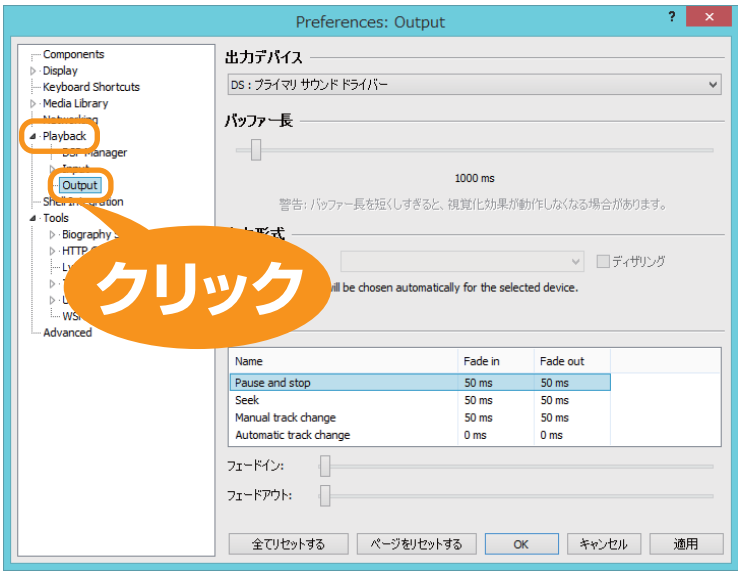
3. 「デフォルトフォーマット」タブをクリックし、「24ビット、192000Hz(スタジオ品質)」を選択し、「OK」をクリックします。

4. Windowsアプリ一覧から「foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)」をクリックします。

5. 「File」メニューを選択し、「Preferences」をクリックします。

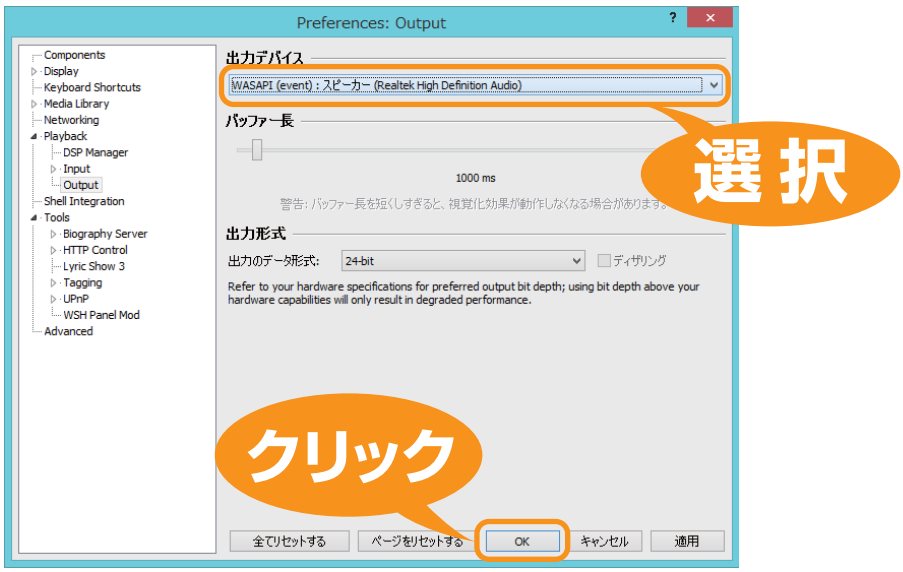


6. 「Playback」-「Output」をクリックします。

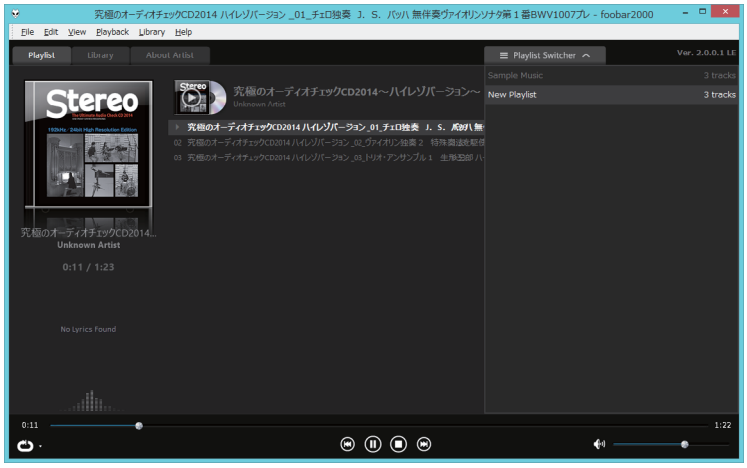


7. 「WASAPI(event):スピーカー(Realtek High Definition Audio)」を選択し、「OK」をクリックします。

> **メモ** pushを選択するとCPU負荷が高くなるため、eventを選択することをおすすめします。
> デフォルト設定は「DS:プライマリ サウンド ドライバ」が選択されています。



8. 楽曲を再生し、接続した外部スピーカーから音楽が再生されます。



> **メモ** 音が再生されない場合は、接続機器の電源や音量などをご確認ください。

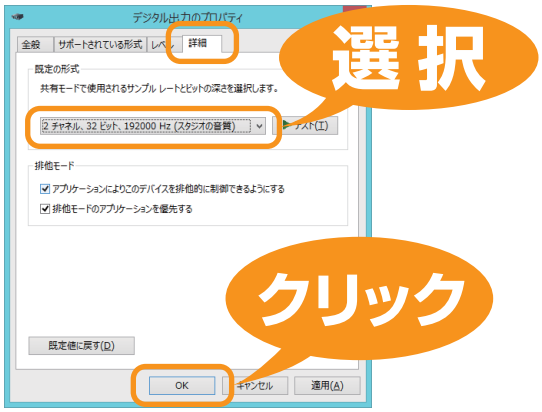
USBケーブルを利用する外部機器(USB DACなど)を接続する場合

メモ　接続する機器によりドライバーをインストールする必要がある場合があります。ドライバーのインストール方法は、接続する機器の取扱説明書等をお読みください。

1. USBケーブルを挿し込み、本機と外部機器を接続します。

2. コントロールパネルより「サウンド」画面を表示し、接続した再生デバイスを選択し「プロパティ」をクリックします。

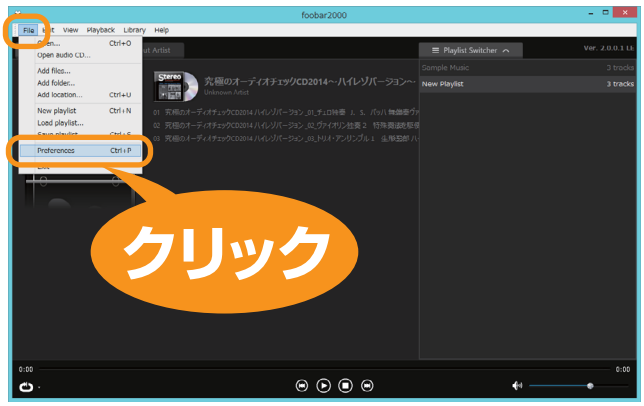
3. 「詳細」タブをクリックし、「32ビット 192000Hz(スタジオの音質)」を選択し、「OK」をクリックします。



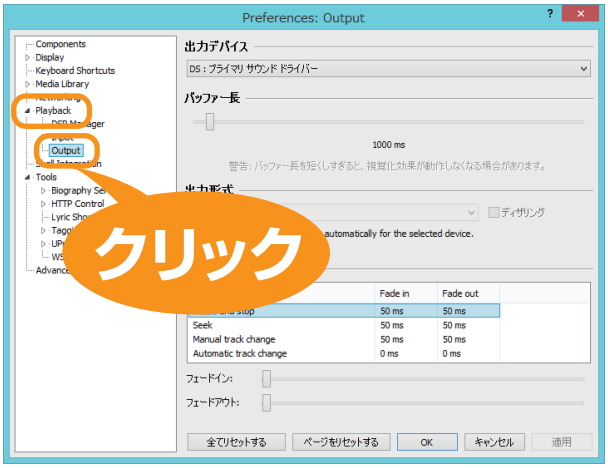
メモ 接続する機器によって選択できるサンプルレートは異なります。最高音質のサンプルレートを選択してください。

4. Windowsアプリ一覧から「foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)」をクリックします。

5. 「File」メニューを選択し、「Preferences」をクリックします。

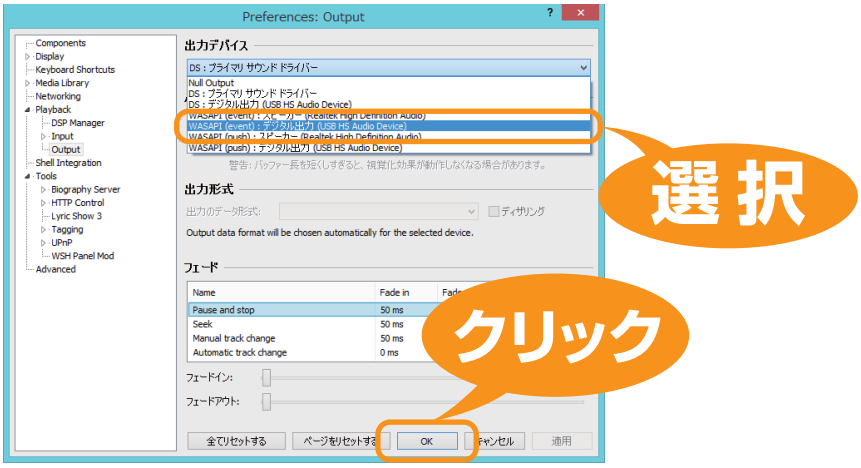


6. 「Playback」-「Output」をクリックします。

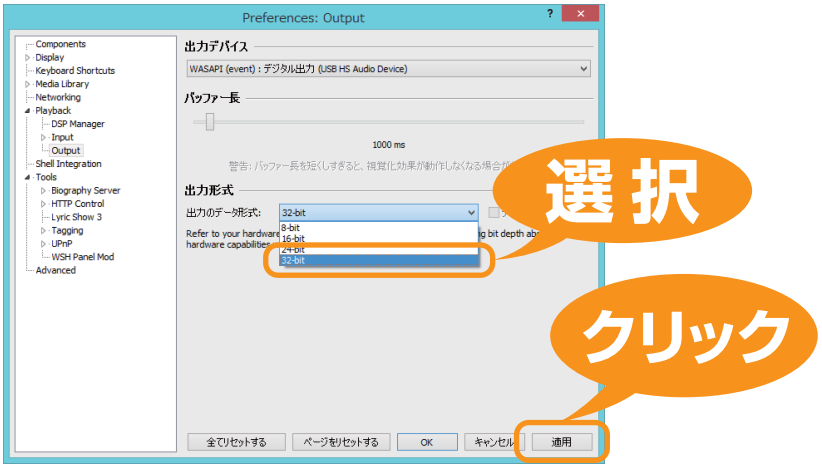


7. 接続した出力デバイスを選択し、「OK」をクリックします。

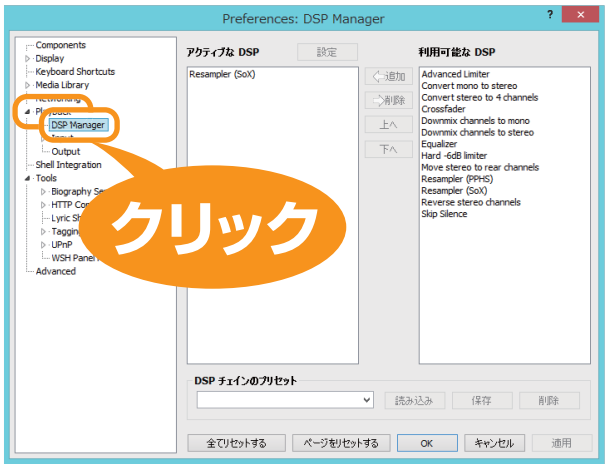
メモ ここでは例として「WASAPI(event):デジタル出力(USB HS Audio Device)」を選択しています。pushを選択するとCPU負荷が高くなるため、eventを選択することをおすすめします。デフォルト設定は「DS:プライマリ サウンド ドライバ」が選択されています。



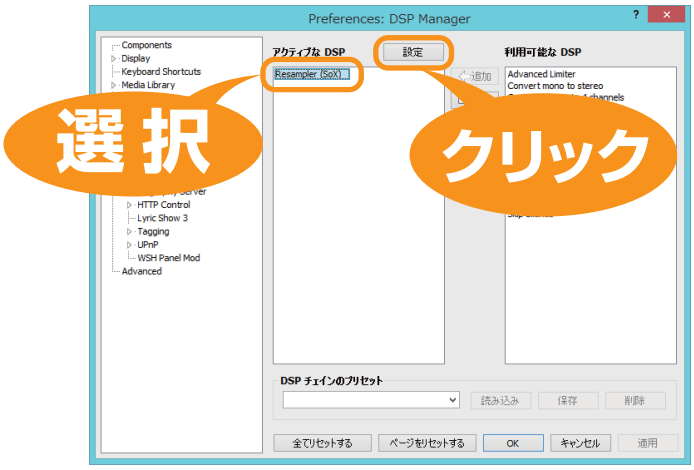
8. 出力のデータ形式を「3」で選択したビット数を選択し「適用」をクリックします。



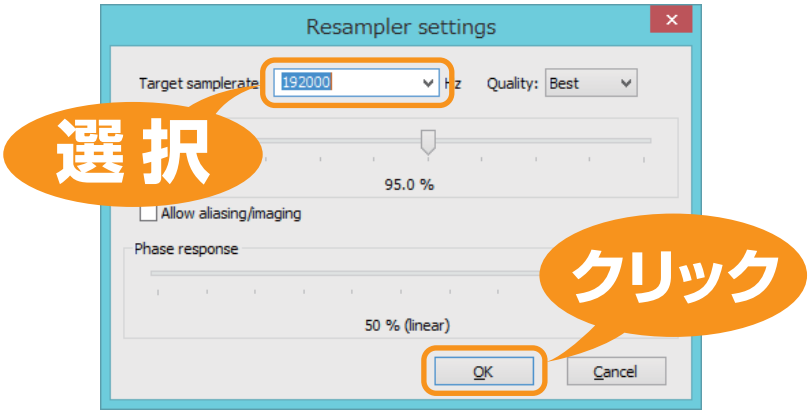
9. 「Playback」-「DSP Maneger」をクリックします。



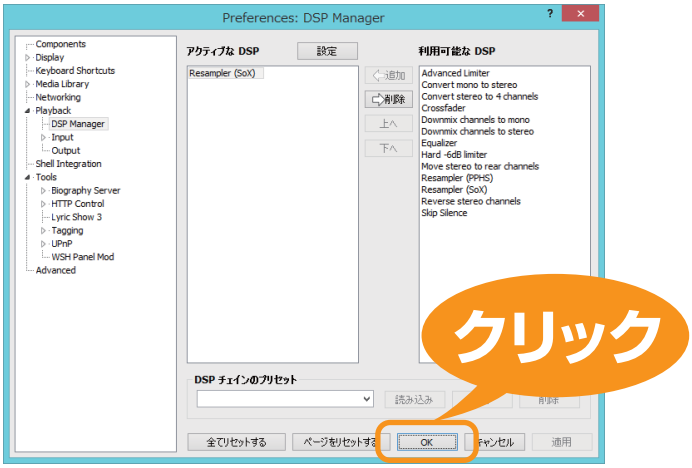
10. 「Resampler(sox)」を選択し「設定」をクリックします。



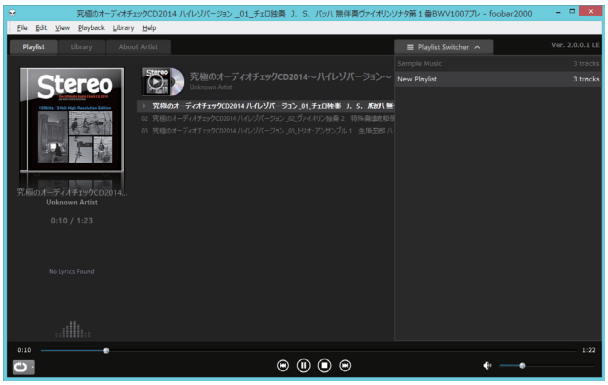
11. Target samplerateを「3」で選択したサンプリング周波数と同じ周波数を選択し、「OK」をクリックします。



12. 「OK」をクリックします。



13. 楽曲を再生し、接続した外部機器から音楽が再生されます。



メモ　音が再生されない場合は、接続機器の電源や音量などをご確認ください。

Chapter C
aLink

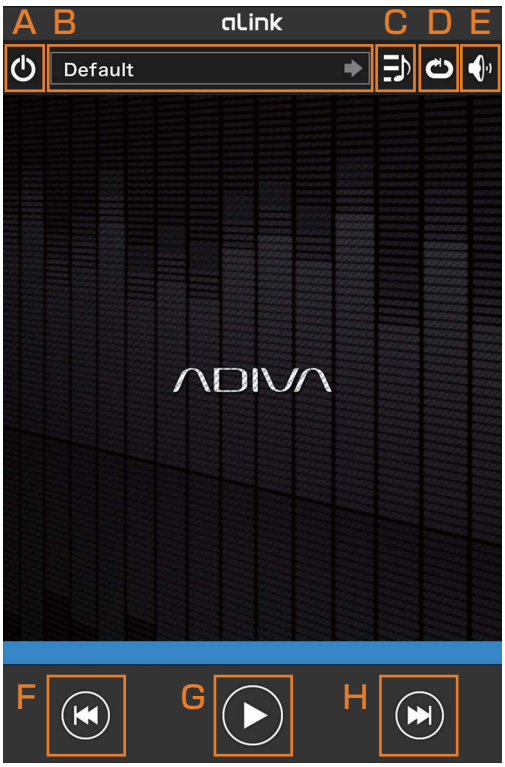
aLinkについて	C-1
ホーム画面	C-1
プレイリスト画面	C-2
楽曲表示画面	C-3
プレイバックオーダーの種類	C-4
設定方法	C-5

aLinkについて

Webコントローラ「aLink(エーリンク)」を使えば、部屋のどこにいてもスマートフォンやタブレットからメディアプレーヤー「foobar2000」にアクセスすることができます。

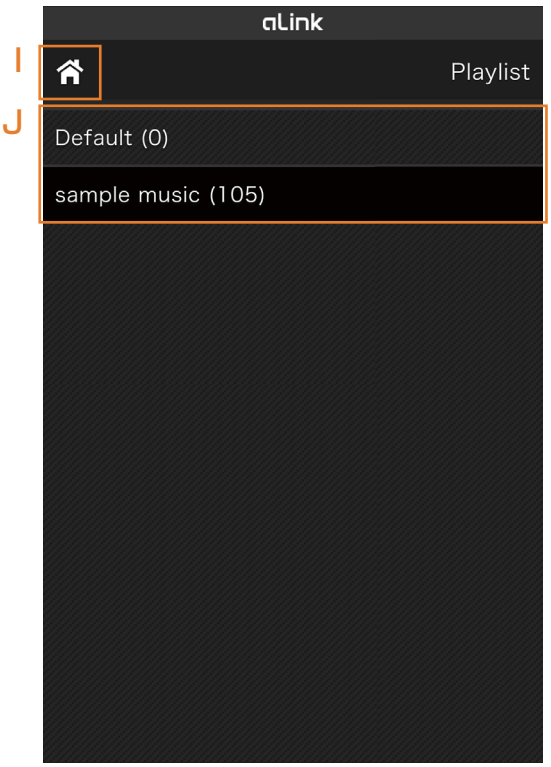
> **メモ** iOS 7以降(Webブラウザ: Safari)、Android 4.0以降(Webブラウザ:Android標準ブラウザ、Chrome、Firefox、Opera)に対応しています。

ホーム画面



A	シャットダウン	aLinkを終了させると同時にPCをシャットダウン
B	プレイリスト表示	再生しているプレイリスト名を表示
		表示スペースをタップするとプレイリスト画面を表示
C	楽曲表示	再生しているプレイリストの楽曲を表示
D	プレイバックオーダー	プレイバックオーダーの変更
		(「C-4 プレイバックオーダーの種類」を参照)
E	ボリューム	ボリュームの変更
F	一曲戻し	楽曲を一曲戻す
G	再生/一時停止	楽曲の再生、一時停止
H	一曲送り	楽曲を一曲送る

プレイリスト画面



I	ホーム	ホーム画面を表示
J	プレイリスト	プレイリストを表示 タップするとプレイリストの楽曲を表示

楽曲表示画面

I	ホーム	ホーム画面を表示
K	楽曲リスト	タップするとホーム画面を表示し、楽曲を再生

プレイバックオーダーの種類

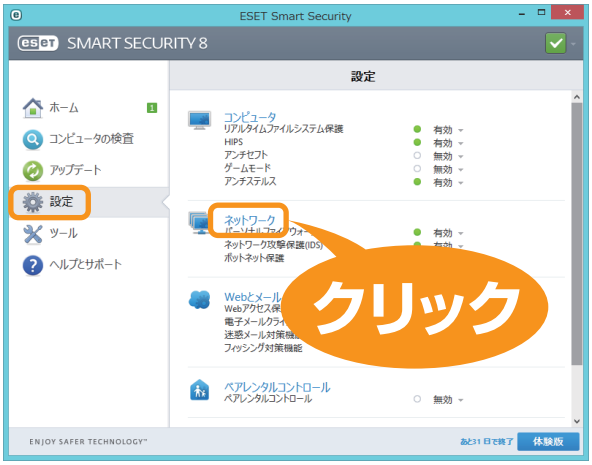
	Default	プレイリストの曲を全て再生したら停止
	Repeat(playlist)	プレイリストの曲を全て再生したら先頭に戻って繰り返す （プレイリストのリピート）
	Repeat(track)	現在のトラックをリピート再生
	Sfuffle(tracks)	プレイリストの曲をシャッフル再生し続ける。 （トラック単位）
	Sfuffle(albums)	プレイリストの曲をシャッフル再生し続ける （アルバム単位=アルバムの曲を先頭から順番に連続再生）
	Sfuffle(folders)	プレイリストの曲をシャッフル再生し続ける。 （フォルダ単位=フォルダの曲を先頭から順番に連続再生）

設定方法

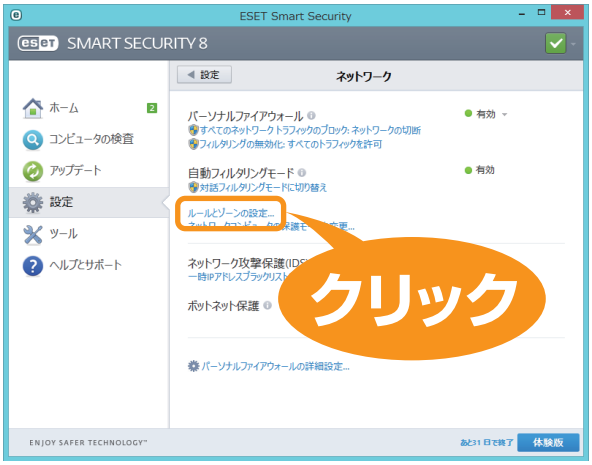
aLinkを使用するためには、インターネットの接続環境やセキュリティソフトの設定とfoobar2000の設定が必要となります。ここでは、セキュリティソフト「ESET smart Security」を例にして説明します。

1. タスクバーの△をクリックし、隠れているアイコンを表示します。
ESET Smart Security の『ⓘ』アイコンを右クリックして「ESET Smart Security を開く」をクリックします。

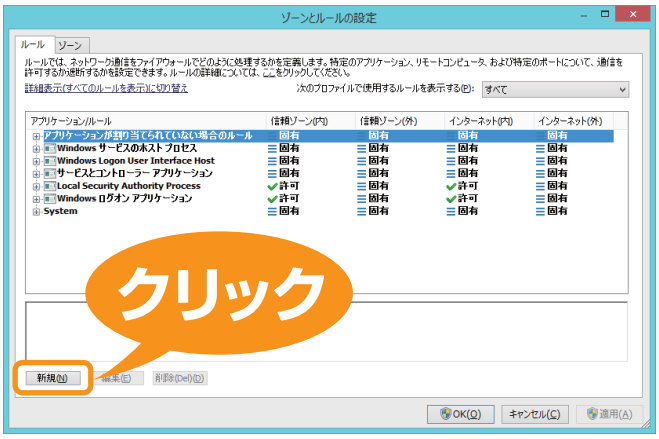
2. 「設定」を選択し、「ネットワーク」をクリックします。



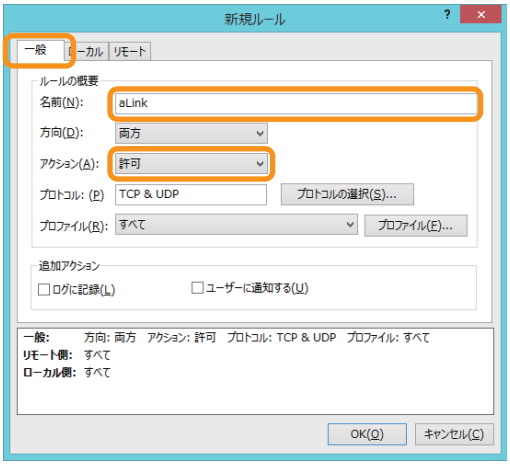
3. 「ルールとゾーンの設定」をクリックします。



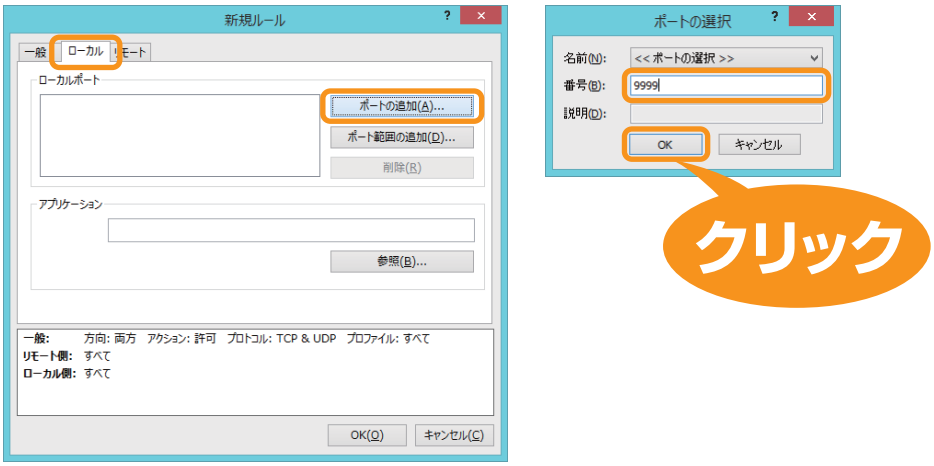
4. 「新規」をクリックします。



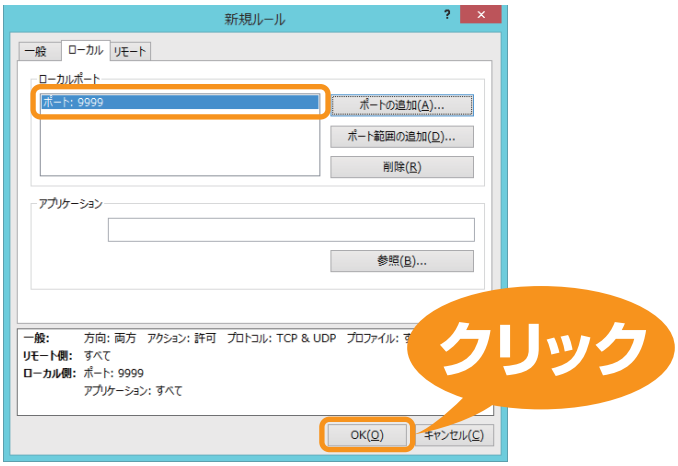
5. 一般タブの項目を下図のように設定します。



6. ローカルタブの「ポートの追加」を選択し、下図のように設定し「OK」をクリックします。



7. ポート:9999が追加されたのを確認し、「OK」をクリックします。

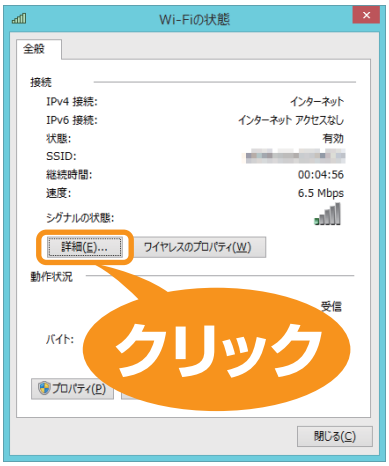


8. aLinkが追加されたのを確認し、「OK」をクリックします。

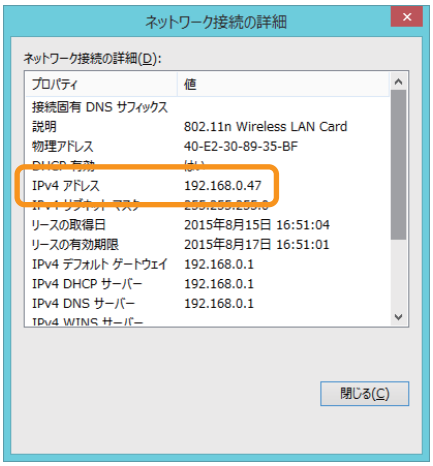
9. お使いのIPアドレスを確認するため、タスクバーの『』アイコンまたは『』アイコンを右クリックして、「ネットワークと共有センターを開く」を選択します。

10. 「イーサネット」または「Wi-Fi」をクリックします。

11. 「詳細」をクリックします。

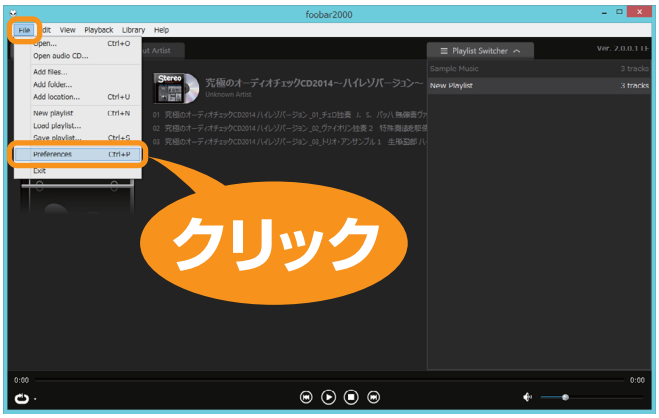


12. IPアドレスを確認します。

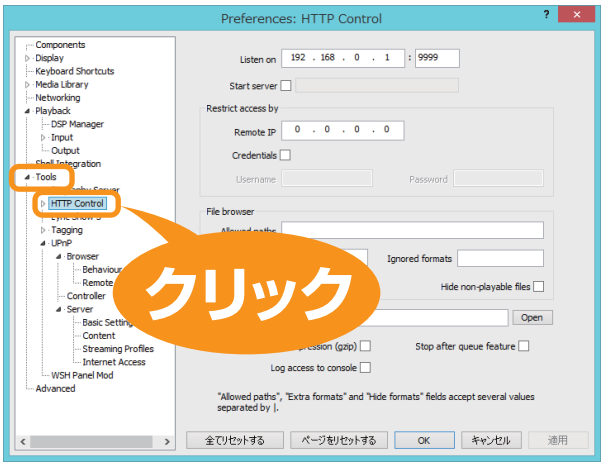


13. Windowsアプリ一覧から「foobar2000 (Abee Custom Ver.2LE)」をクリックします。

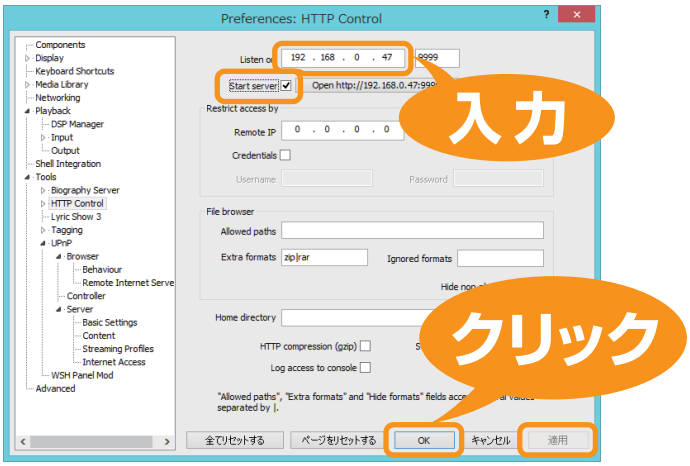
14. 「File」-「Preferaences」をクリックします。



15. 「Tool」-「HTTP Control」をクリックします。



16. 「12.」で確認したIPアドレスを入力したら、「Start server」にチェックを入れ、「適用」-「OK」の順にクリックします。

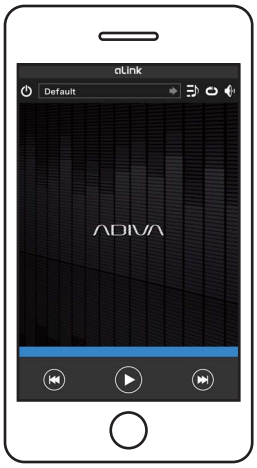


17. スマートフォンやタブレットのWi-Fi接続を有効にし、お使いのアクセスポイントに接続します。

18. スマートフォンやタブレットのブラウザを起動し、アドレス入力欄へ「12で確認したIPアドレス:9999/aLink/」と入力します。

入力例
「192.168.0.10:9999/aLink/」、「192.168.11.10:9999/aLink/」など

19. aLinkの初期画面が出たら、接続完了です。



Chapter D

困ったときは

トラブルシューティング　D-1

トラブルシューティング

電源が入らない。

・家庭用コンセントから PC 本体へ AC アダプタがしっかり挿し込まれているかご確認ください。外れていたら、しっかり挿し込み、電源が入るかお試しください。

・PC 本体に接続されている周辺機器をすべて外し、3 分以上放電してください。放電後、AC アダプタのみ再接続し、電源が入るかお試しください。

画面が映らない。

・ディスプレイと PC 本体を接続するケーブルがしっかり挿し込まれているかご確認ください。外れていたら、しっかり挿し込み、画面が表示されるか確認してください。

・ディスプレイの電源が ON になっているかご確認ください。OFF になっていたら ON にし、しばらくそのまま待ち、画面が表示されるか確認してください。

・ディスプレイ側の入力切替を行い、画面が表示されるか確認してください。

・ディスプレイと PC 本体を接続するケーブルを交換し、画面が表示されるか確認してください。

・入力端子がディスプレイ側に複数ある場合は、他の入力端子に接続し、画面が表示されるか確認してください。

音が出ない

・ディスプレイや接続機器のボリュームが OFF になっていたり、低くなっていないかご確認ください。

・接続機器 (スピーカー、USB DAC など) の電源が ON になっているかご確認ください。OFF になっていたら ON にし、音が出るか確認してください。

・ボリュームがミュートもしくは絞られ過ぎていないかご確認ください。ボリュームの音量を調節し、音が出るか確認してください。

・スピーカーケーブルなどが抜けていないかご確認ください。ケーブル類を再接続し、音が出るか確認してください。

・Windows 8.1 のサウンド設定で、接続されているデバイスが「既定のデバイス」に設定されているか確認してください。

Chapter E

システムの復元とリカバリー

システムの復元	E-1
回復ドライブの作成	E-7
回復ドライブからリカバリーする	E-11

システムの復元

システム設定後、Windowsの動作が不安定になった場合、システムの復元を行うことで正常に動作していた状態に回復できる可能性があります。

復元ポイント作成

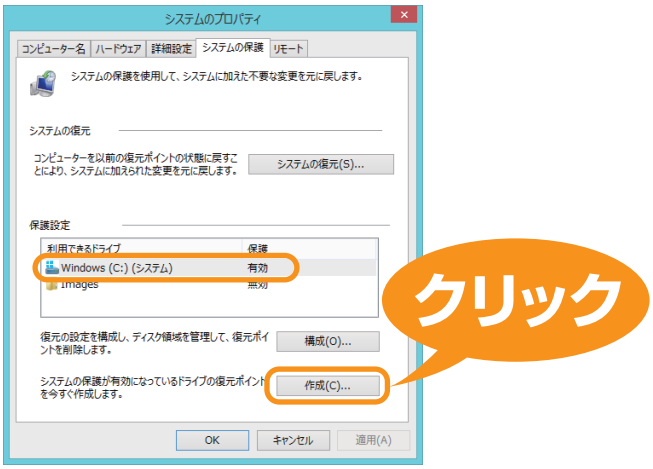
1. 画面左下のWindowsロゴを右クリックし、「システム」をクリックします。

メモ

・「Windows」キーを押しながら、「X」キーを押すことで、メニューを表示させることができます。
・システムの復元に使われる復元ポイントは、ドライバーの更新、WindowsUpdate、新規アプリケーションのインストールなど、Windows 8.1にとって重要な変更が行われた際、自動的に作成されます。

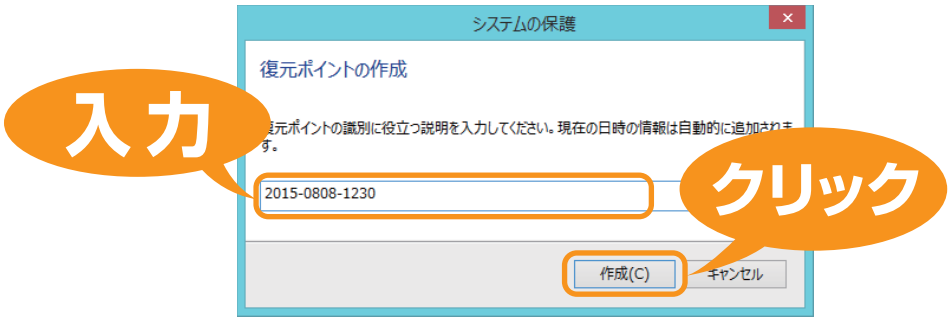
2. 「システムの保護」をクリックします。

3. 保護設定が有効になっていることを確認し、「作成」をクリックします。

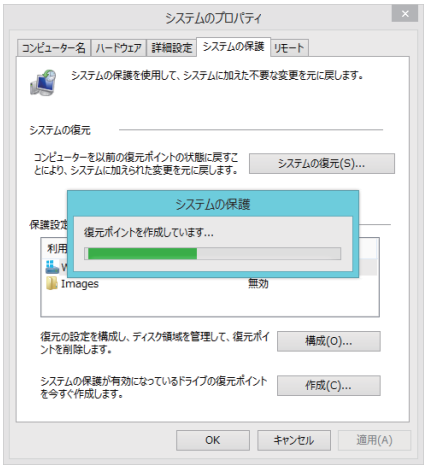


メモ　保護設定が有効になっていない場合は、「構成」→「システムの保護を有効にする」にチェックを入れます。

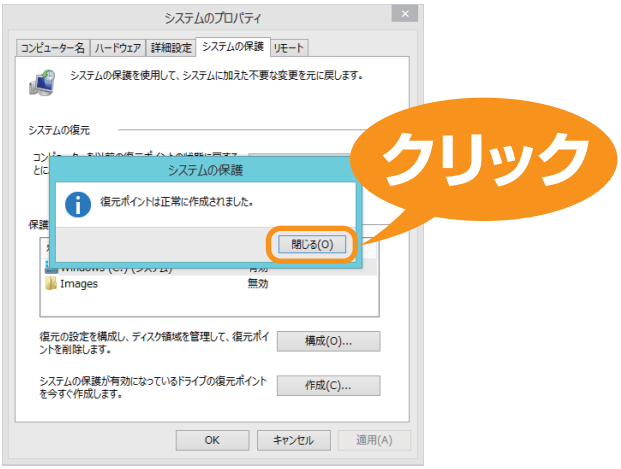
4. 復元ポイントの識別に役立つ名前を入力し、「作成」をクリックします。



5. 復元ポイントの作成中です。しばらくお待ちください。

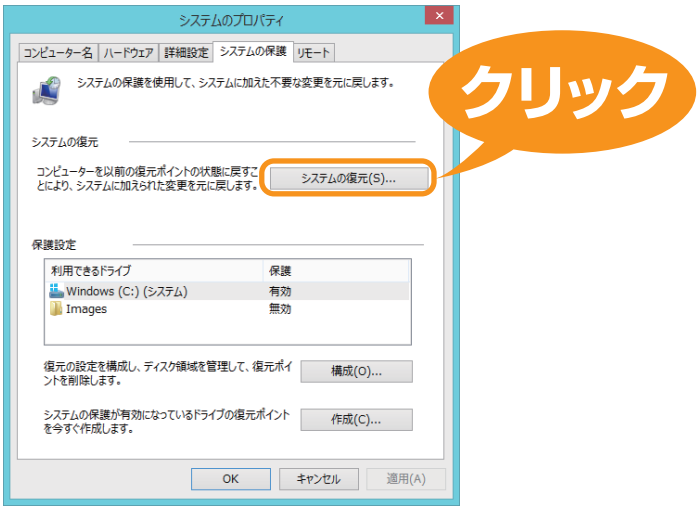


6. 「閉じる」をクリックします。

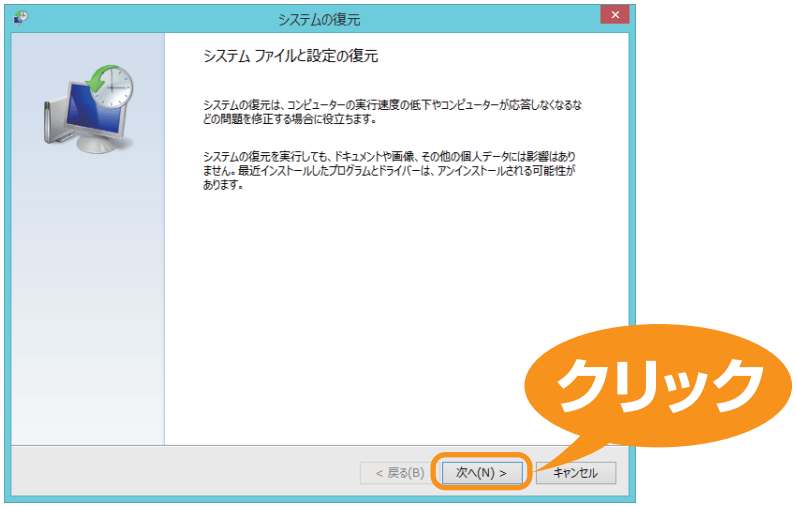


システムの復元を実行する

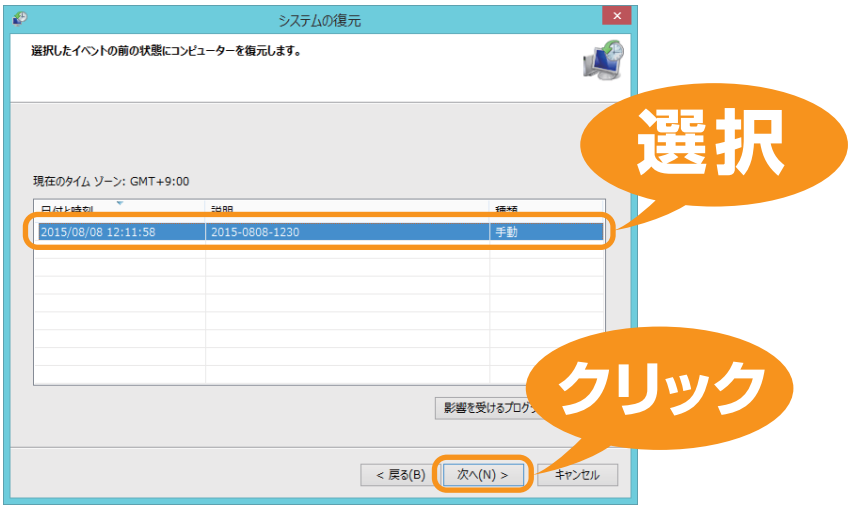
1. 「システムの復元」をクリックします。
（過去に復元を実施した場合、次の「3」の画面になります）



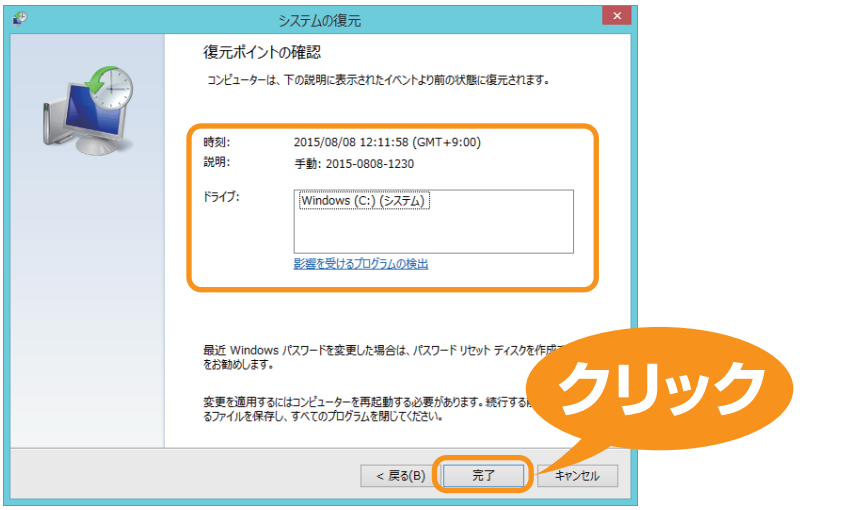
2. 「次へ」をクリックします。



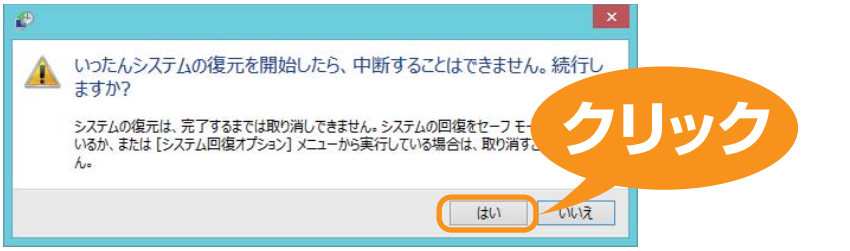
3. 復元ポイントを選択し、「次へ」をクリックします。



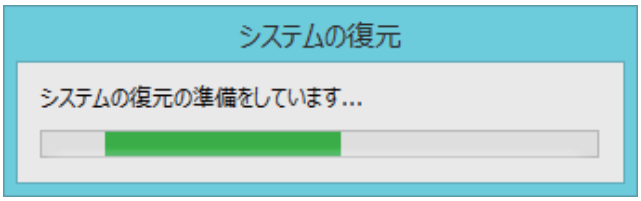
4. 復元ポイントを確認し、「完了」をクリックします。



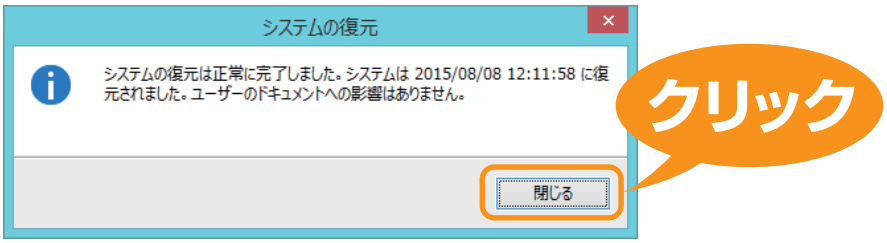
5. 注意事項を確認し、「はい」をクリックします。



6. システムの復元がスタートします。



7. 再起動後、確認メッセージが表示されます。「閉じる」をクリックすれば、システムの復元は完了です。



回復ドライブの作成

回復ドライブは、PCが起動できなくなったり、動作が不安定になってしまったなどWindows 8.1のトラブルに対し、『PCを出荷時の状態に戻すプログラム』を実施するための機能を含んだプログラムです。

ここでは、回復ドライブをUSBメモリへ作成する手順について説明します。

⚠ 注意

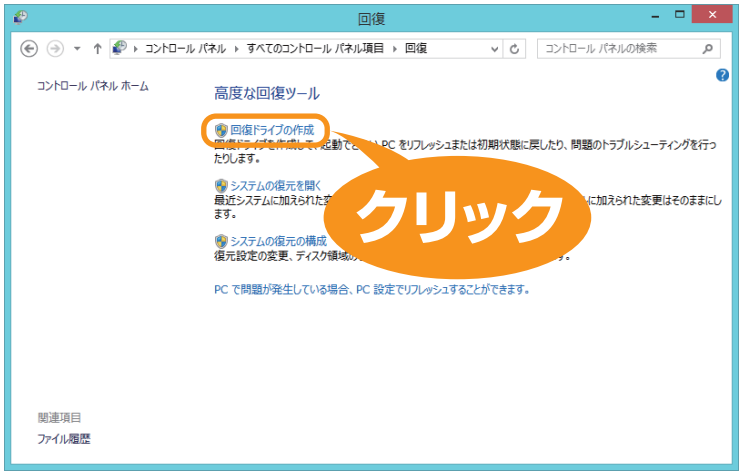
- リカバリーを行うと、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除され、出荷時の状態に戻ります。必ずバックアップをとってからリカバリーを行ってください。
- 回復パーティションは、絶対に削除しないでください。また、Cドライブ領域の拡大、縮小を行わないでください。データが破損してしまいます。破損したデータの修復を行う場合は、製品をお預かりし有償で修復させていただくこととなります。
- リカバリー中はPCの電源をOFFにしないでください。リカバリーが正常に行われなくなります。
- PCに接続されている周辺機器(キーボード、マウスを除く)や、増設機器はすべて外した状態で作業を行ってください。
- お買い上げいただいた機種により、リカバリー中の画面表示が一部異なります。リカバリー画面をよく読み、画面の指示に従ってリカバリーを行ってください。

重要

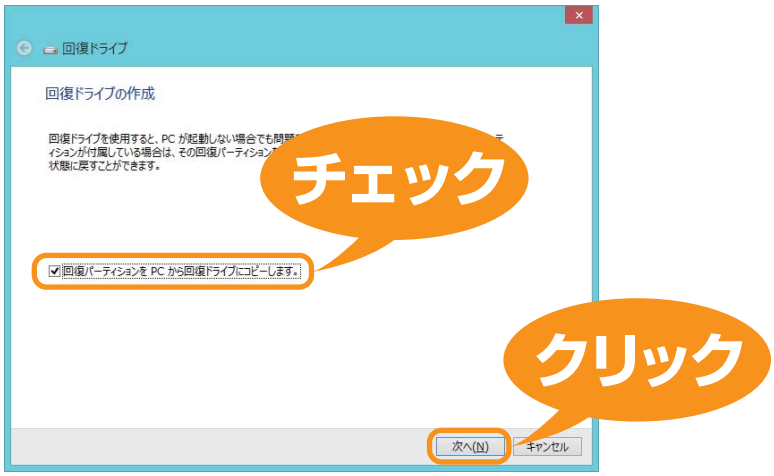
- 容量16GB以上のUSBメモリをご用意ください。
- 使用するUSBメモリ内のデータはすべて削除されますので、事前にバックアップを行ってください。

1. コントロールパネルを開き、表示方法を「大きいアイコン」に変更し、「回復」をクリックします。

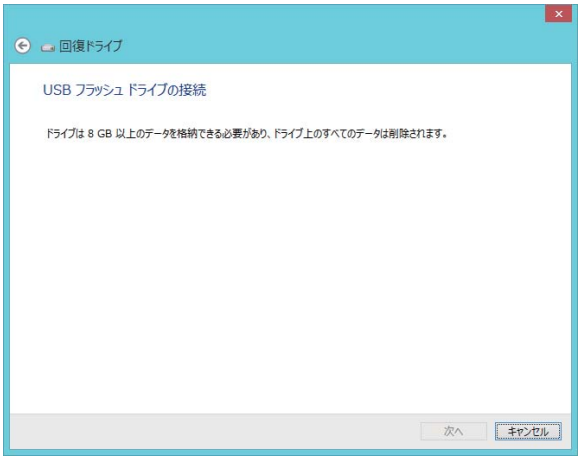
2. 「回復ドライブの作成」をクリックします。



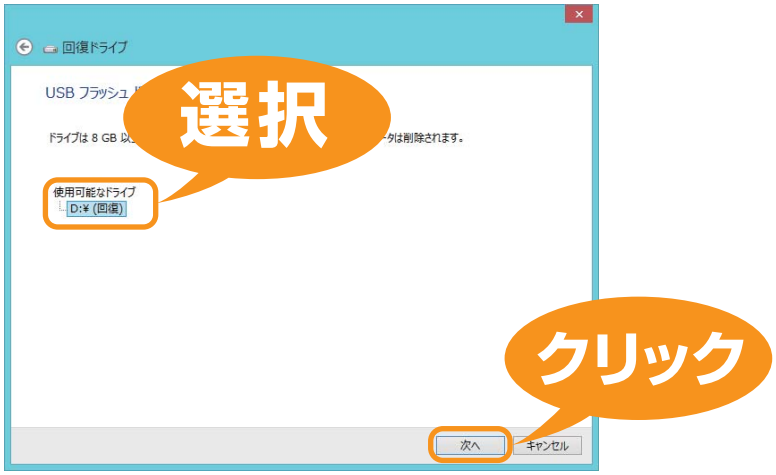
3. 画面の指示に従い、ドライブの作成を進めます。



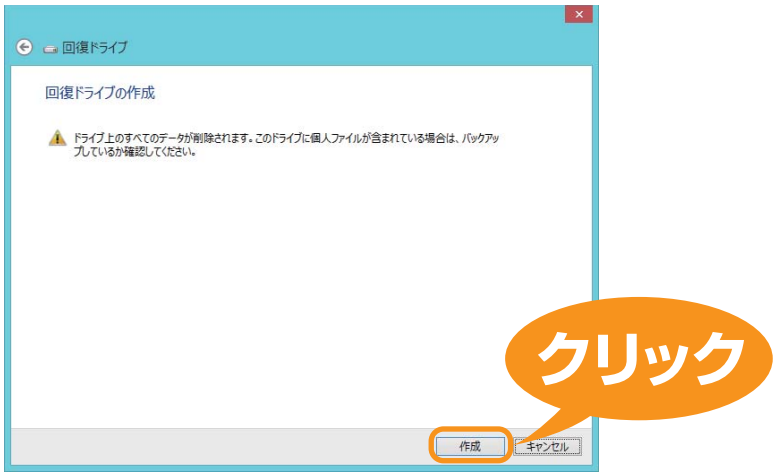
4. 「USBフラッシュドライブの接続」画面が表示されたら、用意したUSBメモリをPCへ挿し込みます。



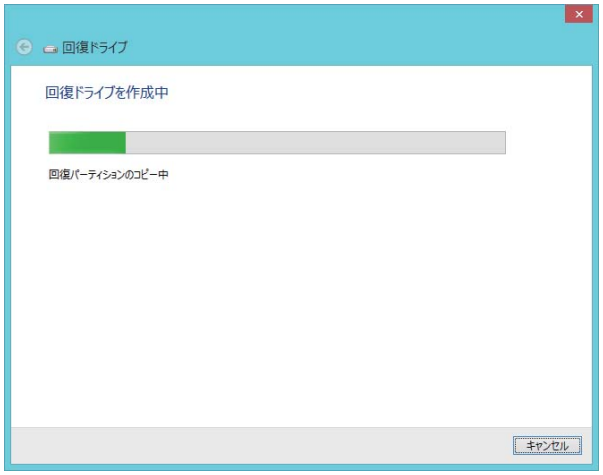
5. 表示されたUSBメモリを選択し、「次へ」をクリックします。



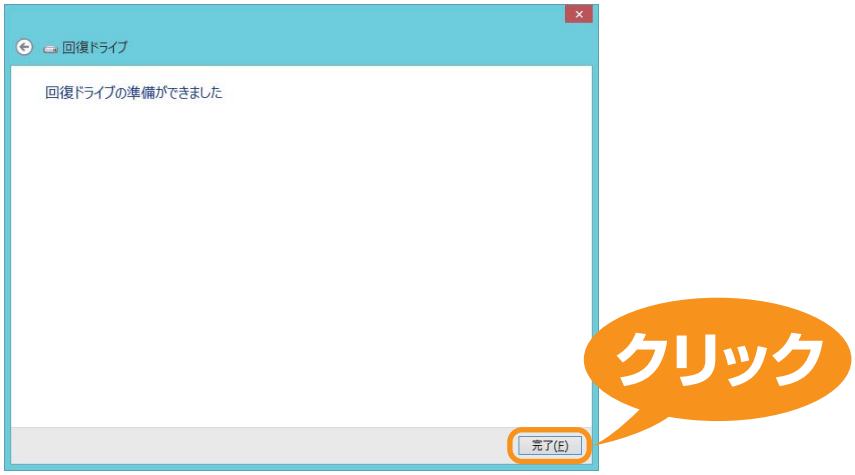
6. 回復ドライブの作成画面がでたら、「作成」をクリックします。



7. 「回復ドライブを作成中」画面が表示されます。



8. 「回復ドライブの準備ができました」画面が表示されたら、「完了」をクリックします。



これで回復ドライブの作成は完了です。PCをリカバリーする際に回復ドライブが保存されたUSBメモリが必要になりますので、安全な場所へ保管してください。

回復ドライブからリカバリーする

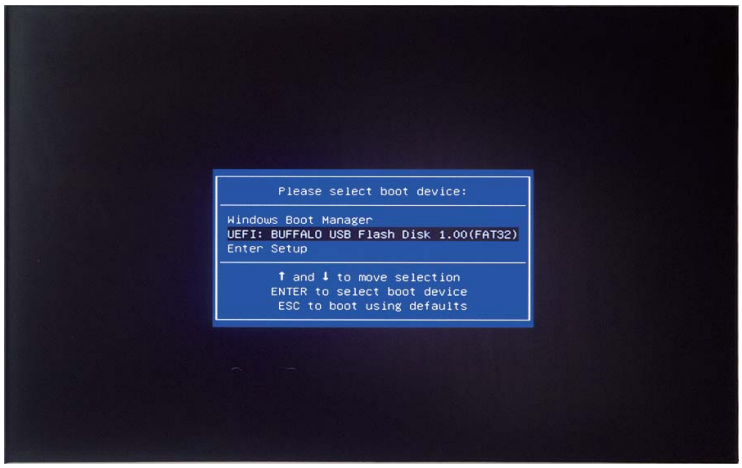
重要

・リカバリーを行うと、PCが出荷時の状態に戻ります。保存データなどは消えてしまいますのでご注意ください。
・回復ドライブを保存したUSBメモリをご用意ください。

1. PCの電源がOFFの状態で、回復ドライブが保存されたUSBメモリをPCに挿し込み、PCの電源を入れます。

2. BIOSロゴが表示されるまで、「F7」キーを何度か押します。

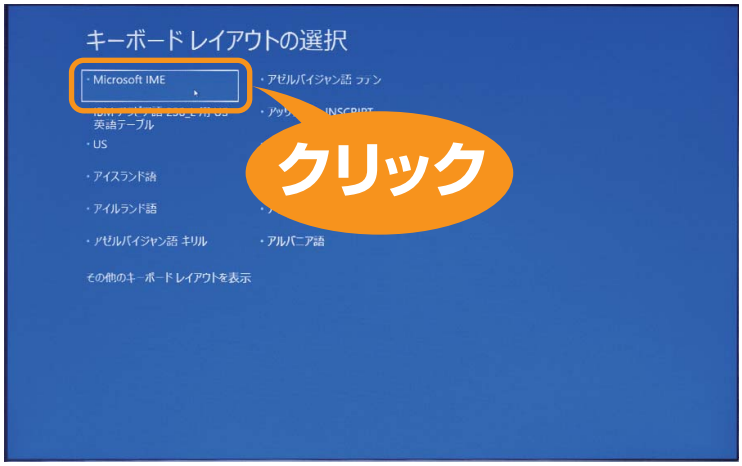
3. boot deviceメニューが表示されたら、お使いのUSBメモリを選択し、「Enter」キーを押します。



メモ

boot deviceメニューが表示されず、Windowsが起動した場合は、スタート画面の電源アイコンから「F2」キーを押しながら再起動をクリックしてください。

4. 「Microsoft IME」をクリックします。



5. 「トラブルシューティング」をクリックします。

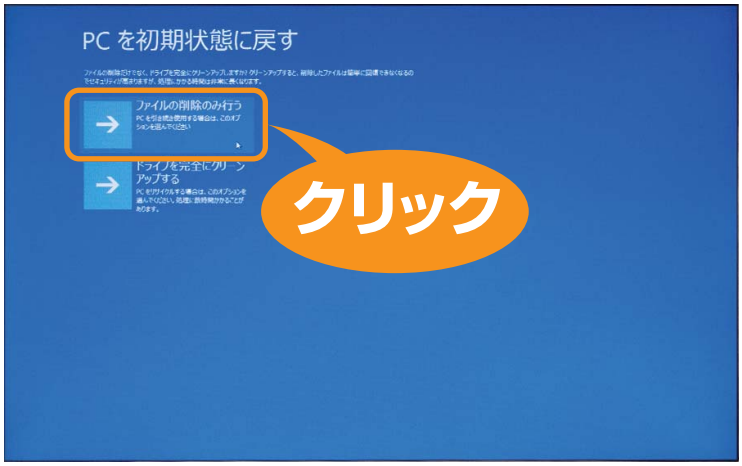
6. 「PCを初期状態に戻す」をクリックします。

7. 「Windows 8.1」をクリックします。

8. 「次へ」をクリックします。

9. 「はい、ドライブのパーティション分割をやり直します」をクリックします。

10. 「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。

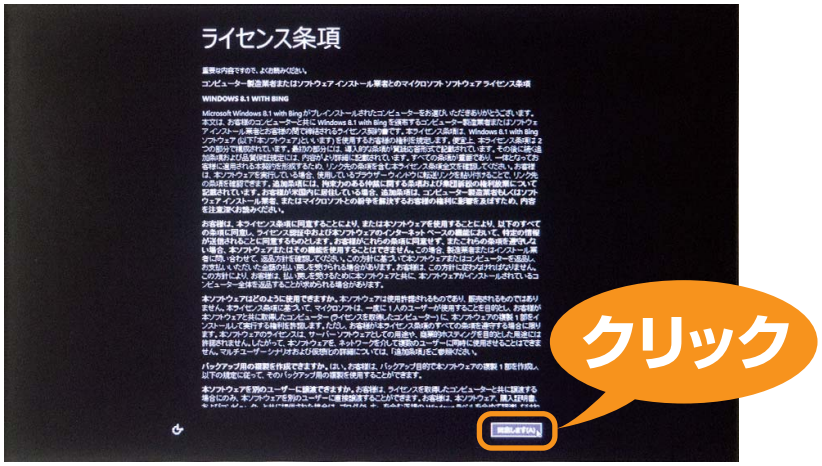


11. 「初期状態に戻す」をクリックします。

メモ

PCを初期状態に戻しています(1%)が表示された画面で1時間以上経過することがありますが、問題ありません。そのままお待ちください。

12. 「ライセンス条項」を必ずご確認のうえ、「同意します」をクリックします。



この先の手順は、PCの初期設定時と同じです。「かんたんセットアップガイド」の裏面をよく読み、Windows 8.1初期セットアップを行ったら、回復ドライブからのリカバリーは完了です。

Chapter F

アフターサポート

保証規定 F-1
アフターサービスのご案内 F-3

保証規定

1.保証内容

取扱説明書、貼付ラベル等に従った正常なご使用状態において、故障もしくは製造上の不備に起因する不具合が生じた場合には、本保証書の記載内容に基づき、弊社指定の方法にて無償で修理いたします。修理のため交換された本体もしくは部品はお返しいたしません。なお、修理期間中にお預かりしている製品に代わる代替機等のお貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

2.保証権利

この保証の権利は、ご購入いただいたお客様本人に限られ、第三者に譲渡する事は認められません。

3.保証対象

・保証の対象は、本製品のハードウェア部分のみとさせていただきます。また、添付品、消耗品等は保証の対象となりません。

・本製品とセット(本製品価格に含まれる製品)あるいは同時にご購入いただいた他メーカーの製品(スピーカー、キーボード、マウス、ディスプレイ、通信機器類、ソフトウェア類、その他一切の他社製品)は、各メーカーの保証規定に準じます。

・製品にプリインストールまたは添付されたOS、ソフトウェア、各ハードウェアのドライバ使用上の不具合、インストール方法、使用方法につきましては、各メーカーでのサポートになります。

4.修理依頼

修理を弊社へご依頼される場合は、製品、本保証書、修理依頼書を弊社へお持ち込みいただくか、お送りいただきますようお願いいたします。なお、弊社へのお持ち込みもしくは送付いただく際の交通費、送料をはじめとする諸費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の諸費用は弊社負担とさせていただきます。また、発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱、梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。修理をご依頼いただいた際の記憶装置内のデータ消失、破損等について、弊社は一切責任を負いません。修理をご依頼いただく前に、お客様の責任においてバックアップをとられるようお願いいたします。

5.保証適用外

保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

1)本保証書(原本)のご提示がない場合。(領収書、レシート等での代替はいたしかねます。)

2)本保証書(原本)の所定事項の未記入、複製、字句が書き換えられたもの、ならびに販売店の捺印または購入証明書がない場合。

3)お買い上げ後の輸送、移動時の落下、その他お取り扱いが不適正なため生じた故障および損傷。

4)取扱説明書等に記載された使用方法あるいは注意に反するお取り扱いに起因する故障および損傷。

5)不適正または不十分なメンテナンスによる故障および損傷。

6)弊社が認めていない不当な修理や改造、その他お客様の責任に帰すると認められる故障および損傷。

7)弊社以外で修理や改造をされた場合、あるいは本体に貼付された封印シールを剥がされた場合。

8)お客様による使用上の誤り、誤装着、不適切な設置、改造、修理、分解、オーバークロックによる故障および損傷。

9)製品の構成部品が、工場出荷時の構成と異なる場合。

10)OS、ソフトウェアの仕様やバグ、ドライバやBIOSの問題あるいは弊社の責によらない公知のハードウェア特性上の問題による故障および損傷。

11)お客様ご自身が組み込んだOS、ソフトウェア、プログラム等に起因する故障および損傷。

12)ソフトウェアやドライバ類の組み合わせ、競合により生じた故障および損傷。

13)ウイルスの除去、ウイルス感染等に起因する故障および損傷。

14)お客様が設定されたパスワードの失念や忘却により、メインボードやその他部品の交換が必要になった場合。

15)通常と異なる環境(電磁波、ノイズ、振動、高温、低温、湿気、塵埃、たばこの煙やヤニなどが著しい環境下)などで使用したことによって生じた故障および損傷。

16)接続時の不備や接続している他の機器に起因する故障および損傷。

17)指定外使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。

18)火災、地震、落雷、風水害、その他天災地変、異常電圧や電磁的影響、害虫または小動物の混入、その他外的要因に起因する故障および損傷。
19)騒乱、暴動、戦争行為、公害や放射能汚染、その他不可抗力による故障および損傷。
20)自然消耗、摩耗、劣化による場合。
21)その他社会通念上の判断に基づき有償と認められる場合。

6.保証適用の前提条件

・お客様は、弊社が本保証の提供にかかる作業を実施するにあたり、当該作業に必要な協力を行うものとします。
・本製品に追加されたデータ、プログラム、ライセンス情報、ならびに設定内容については弊社では保証せず、当該データ等の消失、破損、変更等について、弊社は一切責任を負いません。修理をご依頼される場合は、お客様の責任においてバックアップをとられるようお願いいたします。

ご注意

・お預かりした製品に故障もしくは損傷が認められない場合、弊社所定の検査費用をご負担いただくことがあります。あらかじめご了承ください。
・故障、損傷の状況によっては弊社の判断により、製品本体もしくはその製品に使用される各種パーツを同一または同等以上の性能を有するものに交換させていただく場合があります。なお、その場合、交換前にお客様が使用されていたハードウェアまたはソフトウェア等をご使用いただけなくなることがあります。
・本保証書の記載内容は、予告なく変更することがあります。最新の情報は、弊社ウェブサイトのサポートページの「保証規定」をご確認ください。

お客様へのお願い

・本製品に故障、不具合等が見つかった場合には、ご購入店に関わらず弊社カスタマーサポートまで直接ご相談ください。
・修理をご依頼される場合は、必ず事前に弊社カスタマーサポートまでご連絡いただき、修理受付番号をお受け取りください。事前のご連絡なしに製品をお送りいただくと受け付けいたしかねる場合があります。

アフターサービスのご案内

アビー カスタマーサポート

本製品の故障、トラブルに関するお問い合わせは弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

▼ Eメール(お問い合わせフォーム)によるお問い合わせはこちら

www.abee.co.jp/Support/#inquiry

▼ 電話によるお問い合わせはこちら

045-306-6686

営業時間:月～金曜日 10:00～18:00
祝日および弊社特定休業日等を除く

お問い合わせの際は、具体的なお問い合わせ内容と合わせて以下の内容をお伝えください。

- ●製品名と型番
- ●シリアルナンバー(製造番号)
- ●ご購入日
- ●ご購入店名
- ●お客様のお名前(フルネーム)
- ●お客様のメールアドレス
- ●お客様の電話番号